京城日報
（年中無休刊）
本紙一部金四錢　郵税金五厘　一ヶ月前金壹圓五錢　三ヶ月同三圓　六ヶ月同六圓　一ヶ年同十一圓
廣告料　五號一行金四十錢　特別二號活字詰同二圓　三號活字詰同一圓五十錢　四號活字詰同七十錢
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
電話番號　長六千九番　振替京城三〇〇番

十二月五日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

勞働時間制內容 委員會決定通り

外務省發表

外務省發表＝勞働會議は十一月二十九日閉會を告げたりとの電報あり勞働會議の成績全部の報告は未だ來らざるも今日迄に着せるものは時間制問題にして同案は滿場一致を以て可決せり一般會議にて審議せる時間制案は大體に於て全部委員會に於て決定せるものと同樣なり其の要領如左（東京電報）

一、勞働時間制を受くる工業は

（イ）鑛山業、採石業、其の他鑛物の採取（ロ）物品製造、機械修繕裝飾、原料に變更を加ふる工業（發電動力供給電氣事業造船業船舶業を含む）（ハ）建物、鐵道、軌道、海港船渠、棧橋、運河、水路、道路、隧道、橋梁、陸橋、下水道、排水溝、井戶、電信、電話設置電氣事業其の他建設工業、移動、修繕、變更、破壞及び此の種の事業を基礎とする工事（ニ）道路又は軌道、海上又は水路に依る旅客及び物品の運送（此の內より人力に依る輸送を除く例へば人力車の如し）尙海上輸送に關する件及び海上問題に就ては特別委員會に於て決定することゝなり居れり

二、勞働時間は一日八時間一週四十八時間を超過すべからざるも此の例外は

（イ）工場の施設の關係上綿密の工事に從事すること（ロ）使用者と勞働者團體との合意に依りて一週四十八時間以內を働くこと即ち或日は九時間或日は五時間を働くも差間なし（ハ）勞働者の交代制に依りて從事する場合は三週間を超えざる期間は一日平均八時間、一週四十八時間を超過するも差間へなきこと（ニ）工場機械の破壞又は破壞の虞ある場合に於ては一日八時間の制限を超過するも差間なきこと尤もそは極めて必要なる程度に止めざるべからず

獨議定書調印拒絶

獨逸は講和條約附屬議定書の調印を拒絶せり（東京電報）

オデッサ對列國感情 日英には好感＝佛國には怨嗟

オデッサ地方は一般に生活困難なるもデニキンを敬慕する事宛ら神の如く彼に對しては絶對服從しつゝあるもの、如し又英國に對する好感は大なるも佛國に對しては怨嗟の聲あり日本に對しては概ね好感を有するも我極東の援助を見に卽解するもの尠く一部は米國のプロパガンダに依り領土的野心を疑ひつゝあり（浦鹽電報）

ハ市現政府擁護 露人米及チェックに反感を抱く

ハバロフスクに於ける有力なる機關は現政府擁護の態度を表明しつゝあり尙ほヴラゴエシチウエンスクにては未だ何等政黨的運動の畫策を見ざるも一般露人は今回の政變に付き米國及びチエックの行動に反感を抱き口を極めて罵りつゝあり（浦鹽電報）

チエック秩序維持言明

チエック軍司令部にては過激派の蜂起に對しては社會黨一派の行ふ政爭的行動なりとし市內の秩序を紊亂するに於ては露軍隊と協力一致して秩序維持に任ずるの意を言明しつゝあり（浦鹽電報）

哥薩克奮闘聲明

セミヨノフはバポードマイアタマンとして極東哥薩克に命令せるに各哥薩克は全力を盡してコルチャック提督の愛國的事業を援助すべきを以てし且つ特に是を各新聞紙上に廣告し露國復興の爲め最後迄奮鬪すべきを聲明せり（浦鹽電報）

イ市不穩形勢 物價騰貴と猶太人に對する反感

イルクツクに於ける物價騰貴に對する住民の不平甚だしく猶太人に對し暴行行はれまじき形勢を示しつゝあり之物價の騰貴は猶太人の投機的行爲に因るものにして住民の反感を買ひつゝあり從つて暴行を演ぜらるゝも過激派とは性質を異にすと（哈爾賓電報）

齊多經濟界恐慌

齊多露國銀行は浦鹽政府の政策以來大口拂ひを停止しこが爲め經濟界は大恐慌を來せるが或は騷擾勃發を免かれざるべし（哈爾賓電報）

聯國支那財政救濟 一の資本團を組織して

煙酒借款頓挫し二千四百萬圓の善後借款前渡金も舊銀行團躊躇せる爲め未だ成立せず支那政府の財政愈急迫を加へ殊に年末に切迫せる爲め益々外債の必要を感ずるに至りたるを以て聯合國銀行團は舊銀行團に非ず又銀行團にも非ざる一の資本團を組織し支那政府焦眉の急に應ずべく共同投資するの計畫進捗しつゝあり（北京電報）

駐日英大使任命

サー、チャーレス、エリオット氏は駐日英國大使に任命されたり（倫敦電報）

凱旋將卒行賞 本月中に發表か

西伯利に出征し本年三月三十一日迄に凱旋せる豫後備將校及び下士卒の行賞に關しては過般來陸軍省に於て審議中の處此の程殆ど全部終了を告げ既に調查委員會に附託したるを以て近日中內閣賞勳局に廻附の上御裁可を仰ぎ成るべく本月中に發表すべしとの事なるが其の人員は萬に達し文官其他の非戰鬪員をも含み居れりと（東京電報）

山縣公上京

小田原古稀庵に靜養中なりし山縣老公は四日午後二時發上京せり（東京電報）

事務官府尹大異動 四日發表

四日總督府及び道事務官並に府尹に左の通り大異動行はれたり

朝鮮總督府道事務官　齋藤禮三
同　吉松憲郎
同警察官講習所教授兼事務官　宮舘貞一
任朝鮮總督府々尹（各通）朝鮮總督府事務官　板東義雄
任神奈川縣事務官
任長崎縣理事官　同　神田純一
同　朝鮮總督府秘書官　本岡榮次郎
任大分縣理事官　伊藤武彦
任朝鮮總督府參事官　三重縣理事官　郡茂德
愛知縣理事官　渡邊豐彥
長崎縣理事官　菊山佳雄
靑森縣理事官　藤原喜藏
鹿兒島縣警視部長　久留島新司
任朝鮮總督府事務官（各通）千葉縣視學　兒玉魯一
任朝鮮總督府警察官講習所教授　休職廣島縣內務部長　片岡文理
任朝鮮總督府道事務官　朝鮮總督府事務官　工藤壯平
長野縣警察部長　佐藤七太郎
神奈川縣事務官　渡邊忍
岩手縣理事官　石川登盛
埼玉縣秩父郡長　安藤袈裟一
長崎縣理事官　武井秀吉
任朝鮮總督府道事務官（各通）忠淸南道第一部長　澁谷元良
同　咸鏡南道第一部長　菱田義民
同　全羅北道第一部長　大久保到
文官分限令第十一條第四項に依り休職被仰付

局部長會議

定例局部長會議　五日午前十時より總督府第一會議室に於て定例局部長會議を開き齋藤總督を始め各部局長並に所屬官署長參集諸般政務に就き審議したり

航路貨物運賃

朝鮮線と連絡せる朝鮮航路貨物運賃中來る十日より左の通り改正實施さるべし

仕向地	仁川 原價百圓	收	一才	三才以下一箇	雜貨百斤
[illegible]島	一〇〇	五五	七四	二六	三二〇
安興	六五	七五	九四	一四	四六〇
蟾川	一四	八五	一〇〇	一六〇	四〇四
江華島	三二	三五	七〇	九	二四〇
喬桐島	六〇	三五	七四	一二八	三二〇
海州	一二〇	七五	八四	一六二	四四九

信託業務 鮮銀にて開始

朝鮮銀行にては大正七年三月朝鮮銀行法の改正により信託業務を取扱ふこととなりたるも公債株式の應募申込拂込配當支拂其他手形の保證引受等に關する一部信託的のものを便宜取扱ひ居たるに過ぎざりしが近く信託法も議會に提出せらるべき機運に達したるを以て本來の信託業務につき先般來種々調査中の處今回愈々該業務中差向き有價證券の信託預りを開始し大口の無記名國債證券の預託を引受くる由なり而して同行は預入有價證券につきては其の管理を引受くるのみならず同行の都合によりては預行の責任に於て運用することある次第なり

鮮銀當局談

鮮銀の信託業務開始は金融上貢獻する處尠からざるべき乎に就て鮮銀當局は曰く證券信託預りは小口のものを取扱はず一口四五萬圓程度を最低とすべし又使用料は年一分以內の見當ならん更に鮮滿に於ては多額の有價證券を所持する人多からざるを以て何程利用さるゝかは疑問と云ふべく結局內地に於ての取扱ひは多からん尙ほ信託預金は諸種の關係上未だ開始せず信託法の公布實施を待ち居れり

此制度を利用

することあるべきを以て一定の使用料を預入者に支拂ふ仕組なりきは證券所持者は徒らに之を死藏し且保管の危險を負擔する必要なく最も安全確實に保管及び利殖の道を得るのみならず無手數料にて其管理を託し利札取立償還金受領等の煩瑣なる手數を免れ得べく又其預り證書も讓り渡しあるを以て預入主は其利用に頗る利便なる點あり近時經濟界の急速なる發達に伴ひ國債證券も著しく增加し鮮滿に於ても其流入日を逐うて益々多からんとする現狀にあるを以て觀測さる

金融益々緊縮

金融は逐日緊縮に傾き各銀行共新規貸出しは除程特種の關係あるものにあらざれば之を認めず ために商取引に圓滑を來す傾きあり又株券金融の如きは少數の例外を除き殆ど絕對的拒絕の狀態にて現株取引の減少は止むを得ざるものあり從つて金利の如き強調を辿り尙ほ大節季の切迫と共に一段の緊縮あるべしと觀測さる

期米跳返 五十圓肉薄

五日前場の仁川期米先限は四十七圓九十錢に寄附き七十錢を安値とし止めに於て四十九圓廿錢こ安値に比し百五十丁の大反撥こ更に前日の安値に比し二百六十丁の跳返しとなりたるが正米は期米の氣崩れに副はざる下げすぎ反動內地との鞘開き過大等に基づく採算節の買進み の結果なるべく尙ほ前途暗澹の雲に包まれ居れるにつき意外の波瀾を來すべしと

私設鐵道懇話會々合

一般東京に於て成立したる朝鮮私設鐵道會社九社の私設鐵道懇話會は愈東京にて臨時會を開き諸種の問題につき意見の交換を行ひつゝあるが同會の本部は之を東京に置くこと略決定し近く當地に於て臨時會を開き鐵道用地問題勞働問題並に其の他の重要問題につき協議會を開くべしと

難澁な國境の交通 國境横斷旅行を終りて（四）

伊藤特派員

道廳編纂の地圖によれば國境方面に於ける

江岸道路は 既に竣成し自動車、馬車をも自由に通じ得るかに見ゆるが其の實、鴨綠江側では新義州より朔州に至る約二十一里の工が終りたるのみで其の餘の百數十里間は未着手のまゝである。又豆滿江側でも部分的には改修が出來て居るが夫れとて茂山以西は一切手が着けてなく二等道路と云ひ三等道路と稱するは多く「圖上の道路」に過ぎないのである。今日江岸方面を旅行するに當つて

單に朝鮮側 のみの道路を通行せむとする時は屈曲せる江流に隨つて大迂廻を爲さざるべからざるのみならず時に峻嶮なる山坂を上下し時に斷岩絶壁をも攀ぢざるべからざるが故に全く「命懸け」にあらざれば不可能である。然らざれば一般旅行者は或時は鮮地の道路を歩き或る時は對岸支那地に渡り常に江流を縫うて往來しつゝあるのであるが是れとて

牛馬の通行 にも危險な個所が少くない位で道路の險惡なること都人士の想像の遠く及ぶ所でない。殊に今年は時局柄から不逞鮮人の侵入を取締る必要上渡津を關門として出入を嚴戒しつゝあれば其の土地の狀況に通ずる業者により時期と渡發着回數に制限を加へ且つ其の渡津每に憲兵立會ひ其日の最後の渡客を終りたる時は櫓及櫂は憲兵隊に於て

保管する事 となつて居つて嚴重に施行されつゝある。是れが爲め國境の旅行は本來の道路險惡に加へて更に數倍かの不便と困難を感ずるのである。記者の如きも屢々此の時間外不渡船の厄に遭ひ不安なる支那地に宿泊するの已むなきに至つたことがある。內地人側に於て之が最も打擊を蒙つたのは筏夫であつて彼等は鴨綠江を四五に區劃したる

其の一區域 間（惠山鎭、新乫坡鎭、中江鎭、高山鎭、新義州間等）の流筏に從事しつゝあり筏が區域の終點に到着したる時は筏の受渡を濟まして上流地點に歸るを常としてをるのに今年は其歸路に當つて渡船の利用自由ならざる爲め少からぬ影響を受けたさうである。我々內地人に於て旣に然り、一般善良なる鮮人旅客が蒙りつゝある

不便不經濟 は推して知るべしである。斯の如き狀態が果して何時頃まで繼續するのであるか豫斷の限りでないが從來江岸道路速成必要の條項として數へられた軍事上、商業上其他の條項以外、今日斯の如き事情あることを附け加へてその速

鐵道と運送業 久保理事の談

三日朝鮮鐵道承認運送店組合に於ける久保京管局長の談話要領左の如し

運送業者は鐵道の補助機關であるとは年來唱へられた言葉で聊か之に相違ないから故に運送業者と

鐵道の方針と は常に同一方針で又同一歩調を執るの絕對的必要なるを痛切に感ずる それで機會ある每に運送業者も鐵道方針の了解に努められて居ることゝ思ふ目下の朝鮮鐵道に於て第一に最も苦心を重ねて居る點は輸送力不足の改善である輸送力不振の原因は戰爭の關係もあつたが今後は一切の不便を除き鐵道關係者の經濟上の損害を除くべく種々及ぶ限りの施設をなし居るも尙輸送力不充分である そこで先づ現在の從業員及び現在の貨車數にて輸送力を增す方法を講じ貨車の全能力を發揮せしむべく最も有效に之を使用して居る

此の點に關し ては獨り鐵道從業員のみでは效果を奏し難く各位の如き運送業者の盡力に待つ所が多い

の滯貨問題解決に關する所も詳らかを以て目的とし會員中には官吏、外國人其他の者を含み同會の性質上此の種の企畫を爲すべきを得ざるは明瞭なる所にして右成田開放企畫は全然鑛業會を離れての行動なりと

く旁、鐵道と云ふ一體たる各位の努力を乞ふ次第である次に得る物力面に就き最も念慮する點は滿鐵の經營關係上あらゆる點を考査して止むなく貨車運賃の値上げを行つた事である今後は從來に比し貨物の停滯を少からしめ又損害も僅少ならしめて運賃の負擔は增しても其の效果の增加せんことを望む所である各位が

荷主と鐵道と の中間

に在りて其の配慮如何により鐵道當局の意思が荷主に徹底するとせざるとに別る、故荷物取扱ひの懇切敏活を期せられ一般荷主に鐵道當局の意思を徹底せしめられむことを望むのである

文成貿易認可

蔡元乘氏外十名の申請に係る文成貿易株式會社（資本金十萬圓）設立の件は二日附許可ありたるが同社は本店を咸南文川郡に支店を元山府に置き貿易及び委託販賣を爲すものなりと

森鐵公募締切

森林鐵道公募株三萬株の募集は四日を以て締切りたるが京城に於ける應募は尙ほ報告未達のものあれど概算三萬六千見當なるべく企業熱の關係上兩鐵時代の如き熱狂なき も堅實の申込者少からずと

朝鮮兵器檢査

明年度朝鮮各部隊兵器檢査の爲め東京兵器本廠長甕井少將は砲兵中佐安田吾氏を隨へ目下鎭南に出張中なるが來る七日朝鮮軍司令部隊の兵器を檢査すべく甕井少將は若後要塞司令部參謀官邸に滯在すべしと

鑛區と鑛業會

保留鑛區 最近在鮮鑛業家有志相謀りて總督府保留鑛區に對する鑛業特許の請願を爲すと共に之に關する協議會を開く等種々企畫し居れるに對し朝鮮鑛業會が其の主動者たるが如く世間の誤解を招きつゝあるが同會の使命は其の定款にも明記しあるが如く鑛業に關する學術上の進步並に其の發達を圖

財界閑話

上げ過ぎた反動と內地の氣配が軟化を示したので仁川期米の先限は昨々日三日の間に高値五十一圓七十錢から安値四十六圓六十錢と五圓十錢の暴落振りを演じたを見て此の猛烈さの下げ方は昨年の三月に於ける期米相場を再現したものゝやうだ▲三月の暴落に際しては漸く崩落を見たが當時の恐慌振りは今尙記憶に新しい所、今回の暴落にも亦その眞似が加はつてゐる、何しろ此頃の期米の動き方は實に恐ろしい▲尤も五十一圓の期米に五圓の値下りは何程にもある、大して驚くに足らぬものと云へば云へる▲乃ち三十圓の期米に三圓の値下げとでは略同じである、然し兩三日の間に五圓からの動きを見せては決して安心してゐられない五十圓の期米に十五圓の期米に一圓五十錢の動きを見る進み方は戰時であるから市場に動搖を起すのは當然であらう▲意外の崩落とは云へ仁川取引所が休會を斷行したのは米價公定機關の本能を無視してゐると云ふ批難も即くけれど斯樣な大波瀾の場合成るべく怪我人を少なく而して場面の整理を期しやうとするにはその休會も亦止むを得ぬ點もあらう▲買つて儲けてゐた連中で今回の暴落にあひ元のモクアミに化し、それでも尙ほ足らぬと云ふ連中があり▲それかと思へば賣つて相場は上つて青い顏色をしてゐた手合ひが急な崩落にあつて我面にかへつたのも多いらしい▲その中で買方の巨頭として數十萬の利を占めた釜山の中村某京城の堀原某は五十一圓臺に至つて急に態度を變へて軟化し大賣物を出したさうで今度の下げ相場にもシコタマ取り込んださうなうわさだ▲上げにさり下げに又さるさは眞個の猿り屋だがそれをさられた者はドコにある、結局莫迦を見たのは田舍の丸[illegible]人だらう

分次官東上用務

國分李王職次官の東上に關しては世間種々の流說を傳へ主として李堈公殿下の御身上に關し宮內省と協議の爲めなるが如く傳へらるゝも同次官の用務は專ら王世子殿下の御婚儀準備に關し必要ありしが爲にて李堈公殿下の問題は尙ほ高き處の政策に關し慨ね處理せらるゝ筈なりと聞く

有志懇親會

旣報の如く京城在住の現代議士並に前代議士諸氏は六日午後五時よりアメリーホテルに會合時局に關する意見の交換をなし併せて其の懇親を圖る由なるが多分今後も每月一回位宛て會合する事となるべしと

◎鮮銀券日報　三日現在如左

發行高	一五三、六二二、四〇〇
正貨準備	五八、六七九、三二七
保證準備	九四、九四三、〇七三
限外發行	四四、九四三、〇七三

加藤本社長出張

本社々長加藤房藏氏は方面事務を隨へ五日朝京城列車にて大邱へ出張支局事務及び地方狀況視察の上七日釜山に赴き支局新築披露宴を開催し九日は本社の豫定なり

事消息

▲眞木伸次郎氏（大澤商會京城支店長）五日夜出發京都本店へ
▲深谷留三氏（總督府技師）四日附往復三十日間の豫定を以て京畿、全南、忠南、慶北の各道管內へ出張を命ぜらる
▲佐野藤次郎氏（工學博士）來城中の所五日朝退城
▲大野軍參謀長　七日朝新義州より歸城の筈
▲井伊軍副官　同上
▲神田軍高級參謀　十三日頃著任の豫定
▲西村正則氏（代議士）五日朝釜山より來城
▲田所廣海氏（海軍中將）四日夜馬山へ
▲島藩鐵理事　四日朝發內地へ
▲山下壽治氏（步八十附少佐）事務打合の爲四日來城
▲安達松之助氏（步兵少佐）同上
▲坂西利八郞氏（陸軍少將北京公使館附）上京の途四日夜釜山上陸內地へ
▲伊東知也氏（代議士）五日朝釜山上陸六日午前十一時發急行にて北行

その日その日

◇英國陸相兼航空相チャーチル君は、今日の狀態は決して永續的平和の可能を表示するものに非ず、唯軍隊の疲勞によりて、一時的の苟安を保ちつゝあるのみと喝破す。然り、然り、現下の世界は、動亂戰前よりは頗る騷濟せり、悲慘なる文明は、殆んど予として各國を襲はんとす、戰前に於ける所謂高尚なる思想は寧ろ正反對にして、試みに歐米各所に演出されつゝある、殘忍なる擾亂を見よ。各國民は疲勞困憊の故を以て、無窮の繼續を爲するも、遂に嵐の前の無風に等し。無風の永續す丈け、其丈け更に來らんとするストームは、再び世界擾亂の危機を誘發すべし。チャーチル君の言は、將に世界平和に對する、誤謬を報じたる的確なる警明にして、存所北處に禍亂の種を蒔かんとす、飽迄に世界平和の化に非ず。

◇現下各國の大問題は、資本勞働の確執也、世界大戰も亦資本階級の衝突也。即ち一方には英米國の如き富と領土を擴張し、他方には獨逸の如き、日本の如き、階級任りて、人類共有の富を領土を封鎖され居りては、戰爭は起らざらんと欲するも、得べからざるは當然也。今後の世界が、直に改造か、或は資本國家の解放に非ずんば、チャーチル君の言の、必ず的中すべきは、遺憾乍ら止むを得ざるべし。

◇世界改造は既に耳にタコの出る程聞くも、其改造が主として更に資本國家の利益たらんとする改造なるに至つては、世界は遂に危機を誘發すべし。然れども其改造の遲々として進まざるは、抑つて世界の爲め幸福なるやも知れざる也。

◇華盛頓の我勞働代表は、會議の結果に不滿を懷き、一人を殘して本國に向け出發したりと、未解決の儘會議地に赴き、此の準備の些に失敗し、今後は紛議を以て、醜を世界に晒す、惡は如何。我委員は何等も無爲こ。彼は巴里會議に於て、無問す、是れ委員の罪か、否か、國民は更に默して、何事も言はざるか。

懸賞川柳 剣花坊先生選

大、馬、鹿

（鮮滿兩地の民情視察を兼ね本年內に歸東すべしと（釜山特電））

大馬鹿は出ず小利口のやからのみ　新川 ニコ坊
大馬鹿へ御用々々のジゴマ劇　清州 京月
小人に見ゆる大石內藏助　仁川 利典坊
小日本大馬鹿者の出ない國
大馬鹿がホントの馬鹿は馬鹿思ひ
始政十年大馬鹿を殘ふ秋　龍山 死口
大馬鹿に遺言をする大臣那

商業登記公告

東亞製絲株式會社監査役富田儀作ハ大正八年拾壹月拾五日其ノ住所ヲ京城府三和町六拾壹番地ニ移轉ス
右大正八年拾壹月貳拾五日登記
本店設立　商號　朝鮮容器合資會社　本店　京城府太平通貳丁目　目的　[illegible]
[illegible]
右大正八年拾壹月貳拾七日登記
[illegible]

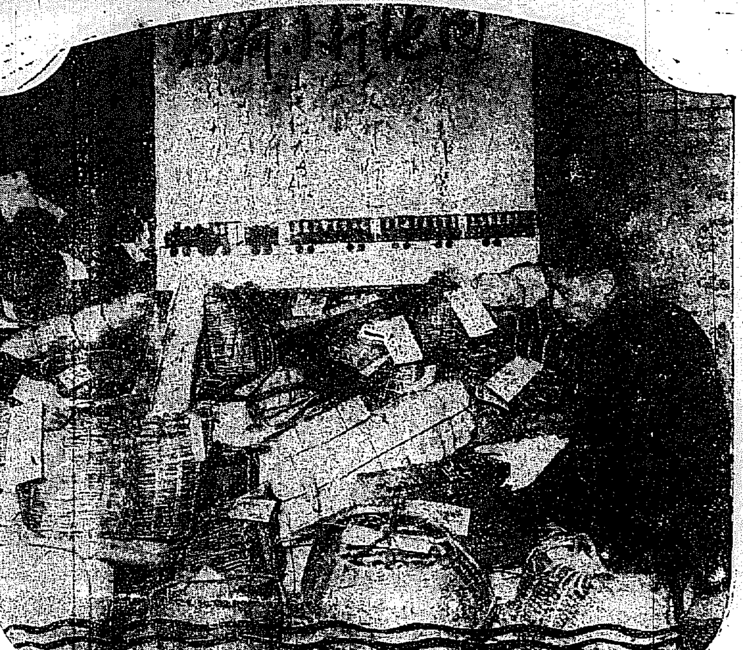
京城地方法院

第十九期決算報告
貸借對照表　自大正八年五月一日　至同年十月三十一日
資産ノ部
[illegible]
負債ノ部
[illegible]
大正八年十一月三十一日
土佐紙株式會社
取締役社長　中內久太郎
專務取締役　中內彌三
取締役　國吉虎太郎
取締役　二階堂三郎
取締役　溝上與三
取締役　土居豐松
取締役　中內之助
京城支店長　森本恒吉
伊野支店長　宇田龜吉
高知支店長　長野嘉太郎
佐川支店長　矢野鶴一
横濱支店長　宇田龜代
監理部長　高根因
常任監査役　井上作次郎
監査役　寶田通

精米麥機
人力
運轉安樂 精白迅速 信用ある方へは長期月賦賣附す 試驗室御覽相成度
詳細圖入說明書は申込次第送呈
製造元　大阪西區市岡町東亞物產商會

鷄卵配達開始
京城本町一丁目五五
守山鷄飼育所
電話五四四番

歲末情緒 鄕土へ行く贈答品



赤裸にしたる新獨逸(下)

風俗は猛烈に壞亂されて 一部の富豪は盛んに游蕩み重ねる 獨逸留學は今の處問題

畑に熟した麥も盗み刈り取られるので兵士が銃を持つて野に張番して居る有樣、列車に託送する手荷物にも一々保險を附する事になつて居ますが夫でも紛失する事があり紛失しても償金は到底滿足には支拂はれません。

從來の獨逸 は總ての取締が頗る嚴重であつたが今や其反動と云ふ譯でもなからうが風俗は猛烈に壞亂せられ賣淫婦の數の激増には驚かされます。工業原料は無く職工は放縱に怠く盛んになるのは罷業怠業で、短時間の勞働に多額の支給を要求する爲め

工場は疲弊 し大多數の國民は遂に失業し苦しむ現狀です。從つて敎育あり技能ある者が職に離れて困窮し居る者尠くなく、住宅は拂底し入獨邦人は高等下宿の發見にさへ難儀して居ります、近來入獨する外國人は馬克が平時の約五分の一に下落したに乘じて

製品買占に 從事するので只さへ製作不足の商品は刻一刻に騰貴する一方です。其中にヤケ氣味の一部富豪は盛んに遊蕩に耽溺して居ます。現今獨逸には砂糖は殆ど皆無と云つて不可なくチヨコレートも又非常に缺乏して居り

之等を携帶 し行くと歡迎され乘車は夥しいものです、甘い物を餌にして釣り得た艶話も尠くないとは嘆しのやうな實際です。紙幣の亂發と其額の多いのも旅行者を惱ます一つですが、書籍類は可成り多く出版せられ價額も敗調の値上に過ぎません双眼鏡等は品少く

月々騰貴の 一方です

大學は授業も復しましたが戰爭から歸來した學生が多く殊に醫科は何地でも多數の學生及び軍隊より歸來せる醫師の復習等にて滿員の姿で臨床的方面に日本人の割込む事は當分不可能の見込です

研究的方面 は動物試驗の不能、瓦斯の不足の爲め不充分の由。日本人に對しては大多數の獨逸國民は好感を行つて居ます、今も尚日本が何故に聯合側に參戰したるかと理由を問ふ者さへある程です。獨逸留學が戰前に回復されるか否やと云へば當分は夫れは不可能と斷定されます

殊に冬期に 燃料に困じて居る際に過ぎぬ以上は入獨しても寒苦いて研究等は不可能と思はれます。(をはり)

國技館 春場所は

明年一月十八日 開場と決定

總て工事を急ぎつゝありし兩國國技館は其の後着々進捗し明年一月中旬には落成すべく四日午前九時より根岸、出羽の兩年寄其他幹部參集協議する所ありしが來る十二日兩國橋向に御苑の立札を爲し一月十五日開館式を擧行し十六日太鼓を廻し十八日より一月場所を擧行する豫定なりと(東京特電)

海員から 士官に

朝鮮にも澤山出來た

從來商船學校出身者は海軍豫備員に任用され東京商船出身者は豫備少尉候補生に、地方商船出身者は豫備兵曹に任命されてゐたのが今度は資格相當の官等に任ぜられ海軍中佐迄昇れる事になり一般米海軍省で詮考中であつたが三日の官報で千九百餘名の商船學校出身者に對し夫々

任命發表 があつた多數の海員を有する朝鮮郵船會社の川田取締役は語る『先日海軍省宛に商船學校卒業者の氏名經歷其他を提出して置きましたが愈々任命がありましたか。未だ本社には何の通知もありませんが何れ海軍省から辭令を交付されるでしやう

當社には 東京商船學校の卒業者が四名居ります、地方の商船出は甚だ多數で今確かな數字は申上げられませんが此等は總て夫々任命される筈です』遞信局の野手海事課長は『局內にも商船出身の人は澤山ありますが當局の釜山海事出張所長技師山本偉氏は

豫備少佐 に任命されたやうです、此外豫備大尉に任命された人が二人と其の他にもあつたらしいですが好く分り兼ねます』

大飛行は廣告の爲

決行する事は決行する 伊國大使館に確報來る 日間に横斷し得る速力

羅馬東京間飛行に就ては東京伊太利大使館には其日取等確報あり決行さるる事は事實にて飛行機數は七臺なるが中一臺は裝備全部伊國製にて無著陸にて羅馬東京間を三日間に横斷し得る極めて優秀の速力を有するものなりと尚今回の飛行は伊國飛行機會社の廣告の爲め計畫されたるものにて之に對し同國政府が後援を爲すものなりと(羅馬電報)

伊國飛行隊 出發期

尚判明せず

羅馬東京間の大飛行に就ては五日在京伊國先發隊委員より其發表ありしも出發期は本國に向け發すべしと而して其の時期に就ては種々の取沙汰行はれつゝあるも伊太利大使館は未だ確報を得ず果して年內に行はるべきや又は明年出發すべきや其點極めて不明瞭なるも兎に角近く實行せらるべきことだけは確かなりと伊太利大使館員は語れり(東京電報)

上海學生二萬の 排日示威大運動

不穩の文句を認めた白旗を翳して市中を練り歩き 一萬圓の日貨を燒棄つ

二日午後二時より全國學生聯合會主催にて上海西門內公共體育場に於て大規模なる排日示威運動行はれたり此の日會場に集まる者七十三團體約二萬人と註せらる學生等は何れも手に手に『日貨抵制』『寧ろ死すとも恥を受けざらん』『臺灣の覆轍を履む勿れ』等の字句を大書せる白旗を持ちて會場に乘り込みたるが會場の中央には壇を設けて日貨を燒き棄てんとする用意を爲せり先づ一同代表者毛一豐より福州事件に關する詳細なる顛末報告あり是れにて會を閉ぢ夫れより一同隊伍を整へて市街に繰り歩き途中排日の檄文を撒き或は大道に立ちて演說を試み各商店に向つて其の店頭に陳列せる日貨を悉く取り排はんことを要求威嚇し中には八軒の商店に踏み込みて手當り次第に日貨約五千弗に相當する物品を沒收し再び體育場に引揚げ同所にて日貨を燒棄せるが燃え終る迄に約四時間を費せり狂暴其の極に達せる學生等は尙は是れに慊らず左の如き決議を爲せり

日本の暴行に依りて惹起せられたる福州事件は今や危險に迫れり上海の學生聯合會は此の形勢に鑑み一層日貨排斥を徹底せしむるの必要を感じ大道演說示威運動等に依りて日本が主權を蹂躙せんとする野心に對して輿論を喚起せんことを期す依つて上海學生は今日より四日間學校を休み全力を擧げて其の目的に向つて活動すべし斯て午後八時に至りて解散せり(上海電報)

鮮鐵慢性延著病に罹る

旅客の迷惑大

昨今急行列車の一時間延著は珍らしくなく驛員は又かと鼻であしらへど旅客の迷惑甚だしく別けて延著病に罹つたのではないかと零す者尠からず五日朝も南大門を通過南行すべき急行第六列車は京義線車林驛にて牽引機關車に故障を生じ前進不能となりたる爲め定州より救援機關車を運轉する等手間取りたるを以て南大門驛にては規定時刻に依り同列車を特發せしめたるが斯くて約四時間延著せり依つて同列車の乘客の批難の聲頗る高し

哀むべき青年の心情

全州郵便局員の赤行囊拔取事件

全州大和町居住葛川總(二〇)は當二十五日午前三時頃赤行囊を切破り現金二千五百圓を竊取し何喰はぬ顏をして居たる處終に二十七日全州警察署の探知する處となり直ちに

全州警察署 に引致し取調を受けたるは既報の如くなるが同人は目下全州郵便局に勤務し月俸二十八圓を給され居たるに何分物價騰貴の今日生活も甚だ面白からざりし折柄近頃遊廓水月に登樓し同樓娼妓初音こと仲となりたるより其の後も二三回登樓し居たるに何時しか其の身の金策に窮し彼是と思案し居る內當夜宿直が恰も二十七日當直勤務の最中の

風邪の爲め 赤行囊を倉庫に格納せざりしを幸ひ目を付け同夜午前三時頃竊に之を切破り現金二千五百圓を竊取し二十六日は人知れず行囊を懷中して金札は辨當箱に納め歸りたり斯くして葛川は全州警察署に引致取調を受けたるも白せず依つて同署に於ては同人の

家宅捜索を 行ひたるに果せるかな同人宅の裏に埋めありし赤行囊及び現金二千百餘圓を發見し之を突付け嚴重取調べたるに終に包み切れず自白したり本人の自白に依れば窮乏の餘金策に困り居たる際幸ひ赤行囊に目を付け二三十圓竊取せんと切破り中を調べたるに意外にも二千五百圓在中し

一時は吃驚 したるも斯くしたる上は仕方なしと思ひ竊取し內金二十圓を取出し初音が東京銀座より取寄せたる金指輪引替小包代九圓餘を仕拂ひて殘金は足袋や布等を求めたりと

貧乏人は夢にも見られぬ 成金式の忘年會

氣の利いた宴會は一人前十五圓以上 最そろ〳〵附込がある 今年の筆頭は穀物協會

指折つて數へる迄もなく今年も殘る日數は最う二十何日、例年の例に依つて忘年會がそろ〳〵催される季節となつたが今年は物價騰貴の影響を受けてか虛榮家筋の

成金連が 少い爲めか夫れとも世間へ遠慮の氣味でか目下の處では未だ昨年程にははづまぬらしい、然うかと云つて花柳界は近年にない素晴らしい景氣を維持して居るのだから愈と押し詰まつたら相當氣を持つだらうが其辯會費は去年よりはズンと騰つて

一流處の 花月千代本白水千歲あたりでは安く見積つても一人分十五圓以上、京喜久などが八圓位、梅屋家松葉井門樂で勉强しても五六圓乃至七圓位この事で少し氣の利いた宴會にせうと思へば十五圓や二十圓では覺束ない、何家も未だ纏まつた申込はない樣子で

鳴りを靜 めて隱れ觀望の態だが夫れでも花月等には穀物協會の百餘人を筆頭に瓦斯會社商銀等の四五十名の附込があるとかで仲居連がお土産持參の突撃戰は是からであらう

孫秉熙獄中に病む

病症は持病の中風か 監獄當局厚意を盡す

騷擾事件の首魁天道敎主孫秉熙は目下高等法院に於て豫審中なるが數日前拘禁中の西大門監獄に於て突然言語の不自由を感じ右手又自由を失ひ重態に陷れるより監獄に於ては

大に狼狽 早速監獄醫をして診察せしめたるに輕度の神經痛を發したるものと診斷せられたるが症狀は持病の中風症なるが如く高等法院に於ても若しもの事ありては例の朝鮮人の事なれば

萬一の事 ありては例の朝鮮人の事なれば如何なる浮說を流布せんも計られずと兎て取り即刻安藤鄕醫を例に報し

孫の信賴 する醫師をして診察せしむる樣申渡へ鄭は直ちに二名の醫師同道診察せしめ監獄醫く極力診療に從事中なりと

大同團一味檢事局送り

李堈公逸走事件の元兇全協以下二十名は五日京畿道第三部より京城地方法院檢事局に廻附されたりと

仁川へ遠乘

乘馬俱樂部の壯擧

京城乘馬俱樂部の有志十數名は七日の日曜午前八時俱樂部前に集合仁川に遠乘を試むる由

獲物を總督へ

七日に擧行する 狩獵大會

朝鮮獵友會の狩獵大會は既報の通り明後七日(日曜)京義線一山驛以北に於て催す筈であるが出發時間は六日午後四時十分南大門驛發列車以降は隨意のこと尙歸途は七日午後六時五十分一山驛發列車に乘り込むことに決定、會員には夫々通知を發した。尙同會では獲物の幾分を總督及び會長に贈る筈である。尙賞品は當日の殊勳者に贈るべき同會(右)及本社のメダルである

食堂車時間改正

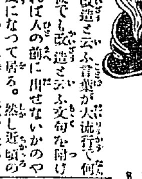
時間外は一品式

朝鮮線に於ては全般食堂車營業時間を左の通り改正せるが定食時間內に於ては和洋獸立式(朝食は特急列車に限る)とし其他の時間は洋食一品式に限るものなりと

食堂開始午前六時、同閉鎖午後十二時、定食同半時間、朝食前七時より九時迄、晝食正午より午後二時迄、夕食午後六時より八時迄

禪堂生活(一)

人間の改造



近頃改造と云ふ言葉が大流行で何でも彼でも改造と云ふ文句を附けなければ人の前に出せないかのやうな風になつて居る。然し近頃の改造は『社會改造』であるの『産業改造』であるの『家庭改造』であると澤山使用されて居るが未だ『人間の改造』と叫ぶものは餘り無いやうだ。處が大聖釋迦は二千五百有餘年前に於て其の人間改造の術を發見して御座る。我日本に於ても其の改造工場があつて偉人、傑士、英雄、豪傑等を造り出して居るが、世間の多くの人は頗る御氣付かならないやうだ。私は愛に其の一端を提供した。來る八日は此の人間改造の元祖である釋迦が雪山に於て六年の工夫の結果一大發見をされた記念日と云ふので禪門では臘八になつて居る。此の臘八の接心と云ふものを修行することになつて居る。此の臘八を修行すると、一年中に粗製の人間が仕上げる處で、一週間打通して修行するのである。俗に之を雲水泣かせと云つて居るが隨分感激なものである。京城の妙心寺別院の御大典記念禪堂でも一寸それに似寄つた臘八の接心と云ふのがある。私は紙面の餘白を借りて『人間改造』は如何にして行はれつゝあるかを一和尙の經歷談を借りて紹介して見やう(三笑生)

出家 私は、尾張中村の生れで、十二歲の時に、或る寺の小僧に貰はれた。濃州では、男の子が生れれば

一人は必ず 出家する風俗になつて居る。鄕家では、稍も可愛子の一人として甘やかされもした、朝寢坊もした、小學校に通ふのも遊び半分であつた、扨て寺に貰はれて來て見るとホームの有樣がすつかり異ふ、譯の解らぬお經も稽古せねばならぬ躾へが惡いと云つては兄弟子から頭を擲られる、師匠からは險呑に叱られる、朝は暗い中から起きねばならぬ拭き掃除もせねばならぬ飯も炊かねばならぬ

飯を焦げ付 かせて散々叱られたか知れない、今迄はこれでも暖かい家庭に育てられた身の、箸一本持つた事のない初生物、他人の飯を一つ見た事のない小年が、他人の飯を初めて食つたのだ、味の甘からう筈はない、叱られては顏色を見るやうにもなつた、脫走して歸らうかと思つたことも五度や十度ではない、さりとて金もなければ、僻地の事で地理にも暗い、霜の晨、雪の夕、

泣きの涙で 八九年を經過した、其の間人が死ぬれば逮夜參り、學校は休んでも、此の方は缺くことが出來なかつた、其の中に年も容て愈々徵兵檢査を受けねばならぬ

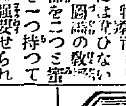
徵兵檢査を 受けねばならぬここになつた。人間の前途を迷ふも此の前後だ。眞に是れ迷故三界城である。我の心中も此の迷霧に鎖されて居た。我は出家はして居るもの、軍人、商人、敎育家何にならうか此の落着點が極まらなかつた、終には空想に驅られて出奔を企てたことが五六回、されど天は我に宗敎家たるの命令を下したのか、迷走の謀は破れて仕舞つた。其の中に年も容て愈々

結果は乙種 で抽籤に漏れた。既に覺悟を定めて居た師匠から確かとした專門道場に掛搭をして修行せよとの勸告を受けた。我も折角宗敎家になるなら確かり修行をせねばならぬと茲に決心を定めて柳行李や袈裟文庫、脚絆や合羽に網代笠よ草鞋を急いだ

紹介

▲白水の新館落成 假て新築中であつた料亭白水の新館は此程漸く落成した。此の新館は壯美を極めた宮殿の大廣間を擬した設けもあり別に小座敷の御へもある同亭の位置が南山町一丁目から登り詰めた南山の懷に抱かれて料亭として最も閑雅の位置を占めて居るのは周知のことであるが此の形勝の位置を占めた白水が更に新築の館を以て顧客に酬ゆべく忘年會新年宴會等も大いに勉强し、自慢の料理物等にも一層の努力を拂ふと云ふ。尙同亭では元の館を龍山へ移轉し新白水電話四六〇を架し龍山方面の愛顧に酬いて居る

灯頃



▲小物教育も亡切にはなひない、が、國語の敎科に柿を二つと栗を一つ持つて來いなどと生徒に强要せられるのは迷惑千萬▲此節は蜜柑一つ買つても三錢や四錢は忽ち飛ぶ、其上柿を二つも買ふとなると全部で何うしても二十錢は要る、有る人にはタッタ二十錢だが吾々に取つては僅に一日の副食物代に匹敵する▲然し可愛い子供に泣いて彈請れると『ならぬ』と叱る譯にも行かず、不承不承出して遣るが之が實は身を切られるより辛い、とは或る腰辨の述懷

文書僞造

住所不定李圭鳳(二〇)は十月廿六日京城郵便局に十七圓を預入れ十一月一日十六圓五十錢の即時拂を受け殘金五十錢なるより惡計を施し該貯金通帳記入の數字を消し本町二丁目郵便所受附印を僞造捺印して十一月六日六十圓、十二日十圓、十四日六十六圓十八日五十五圓を記入し此中より百四十六圓を騙取消費したる事本町署の探知する處となり十一月二十日同署に檢擧取調の結果文書僞造罪にて檢事局へ送らる

行き倒れ

五日午前九時頃太平洞六十九番地先道路に年齡三十四五歲位の鮮人(男)の行き倒れを通行人が發見路警に屆け出でたれば同署より係官及び醫師臨檢の結果病死と判明せし爲め死體は府廳に引渡さる

枕搜し

住所不定李用培(二〇)は前科三犯の曲者にして九月二十三日午前五時頃黃金町二丁目三十三番地度支旅館に投宿せしが恰も同宿中の金泉郡晉字壽及び金大雲の熟睡に乘じ五百九十圓を竊取せるを手始めとして其の後四回百五十圓を前同樣の手段にて竊取し巧に踪跡を晦ましゐたるが遂に本町署の手に逮捕取調べの末檢事局に送らる

炭疽牛

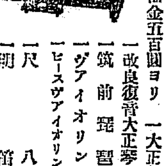
高陽郡崇仁面化里八百五十三番地金之三所有の牛が炭疽に罹り十二月一日斃死したるより高陽警察署にては同里全般に亘り大消毒及び檢診を爲すと共に交通遮斷中なりと

竊盜三件 住所不定女… 惡事露見 …

▲黑色鑛山藥 ▲硝安爆藥
鑛山、石山其他開鑿ニ適ス 運搬、貯藏ニ絶對安全ニシテ瓦斯ニ對シ爆發誘致ノ危險最モ少ナキ安全爆藥ナリ 坑內ニ於ケル使用ハ勿論堀礦石ノ採掘其他土木工事ノ使用ニ適ス
弊社ハ本年四月創立以來各位ノ御同情ニヨリ工事モ豫想外ニ進捗シ既ニ事務所、工場、火藥庫等モ落成シ諸機械其他ノ設備モ略々整頓シ今ヤ製造ニ着手致候就テハ右製品格外ノ廉價ヲ以テ御需用ニ應シ可申候何卒續々御注文ノ程願上候 敬具
安東縣六道溝 滿洲鑛山藥株式會社 社長 佃一豫

看板はフシノ工舍 サツポロビール專屬 工所京城本町三丁目 電話七三一

歲末賣出し仕候(金五圓以上御買上ノ方ニ限リ携帶便利共通的樂器御進呈仕候)
一蓄音器特價金三十六圓ヨリ 一卓上ピアノ金二圓卅錢ヨリ
一山葉オルガン定價金四十圓ヨリ 一ハーモニカ金六十錢ヨリ
一山葉ピアノ定價金五百圓ヨリ 一大正琴金二圓五十錢ヨリ
一改良復音大正琴 金四圓五十錢ヨリ
一筑前琵琶 金十一圓ヨリ
一ヴアイオリン 金四圓ヨリ
一ビースヴアイオリン 金四圓ヨリ
一尺八 金一圓二十錢ヨリ
一明笛 金二十錢ヨリ



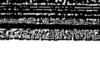
(目錄呈進) ▲荷造運賃及送料實費申受候
販賣元 京城本町二丁目十九番地 釘本樂器部 電話二八三番・振替京城六八四番

倉庫開業
安東縣財神廟街 大連汽船株式會社出張所
安東縣江岸通旭ノ百拾番地 大連汽船株式會社 安東縣倉庫 電話一三六番 中日一九〇〇番
新義州府濱町一番地 大連汽船株式會社 新義州倉庫 電話二五七番

最新型冬帽

上品な中折 自一四二 至五〇〇

瀟洒な中折 自二四二 至五〇〇

瀟洒な軟中折 自二四 至五八〇


輕快な鳥打 自一六 至八〇〇
地方の御注文は必ず名稱也合大さ等洩れなく御指示被下度候送料一ヶに付十八錢
京城太平通り 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

履物卸商 釜山辨天町二丁目 ㊂三好屋 地方御注文歡迎仕候 電話一一三番 振替京城六八三七番

京城西小門町一三二地番 田中丸病院 院長 醫學士田中丸治平 副院長 醫師上野和夫 【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり 電話八八五番

第五版

金融組合の社會政策利用

（下）井上忠爾二部長談

工場法の如き養老保險制度の如き或は住宅政策の如き公設質屋の如き何れも社會政策的施設の一であるこれと同じく金融組合も社會政策的の見地に於て活動し初めて意義ある存在を發揮するのである換言すれば金融組合の使命は社會組織に改良を與へ經濟的發達を助長するに止らず又道義の向上を期するに在るのである今や世は益々多端を加へ國民思想の變調は測るべからざるものあり殊に物價の異常なる騰貴は國民生活を脅威して各種の社會問題を續出せしめ洵に寒心に堪へざる現象を顯出して居る此秋に當りて社會政策的見地に働ける金融組合が益々其の機能を發揮し共同扶助の精神に基づき協力して生活の安定を圖り民力の作興を期するは喫緊の事にして誰しも思ひを茲に致さねばならぬこと、感ずる次第である

頃來大に鑑みる

忠實なる當事者は頃來大に鑑みる所あり、運營洪州大田及び温泉里に於て組合長及び理事を招集し部分協議會を開催したる際左の要綱を組合活動の指標とし大に活躍する樣に申し合せたのであるそれは（一）組合觀念の宣傳（二）勤儉貯蓄の活動（三）役員の自覺活動の

三綱領であつて

之等は從來何れの組合も實行に努めて來たことで決して新しい試みではないのである然し今日特に此の三綱を組合活動の的標とした所以は一に總督府施政の大方針たる一視同仁主義に依る文明的政治の

大綱に共鳴する

處あらしめむが爲である即ち組合は先づ民心の安定に鮮人相互の理解融合と云ふ方面に努力し次いで組合なる團體的訓練に依り隣保團結の協同力の涵養に努め各自の

責任を自覺

せしめたる上他日地方自治制施行の曉に於て地方自治の精神を體得し地方の爲に郷土の爲に懸命に盡すと云ふ人物を作り擧げしめやうと云ふに在るのであるが爲には隨時

巡回講話集會等

の方法に依り之が指導啓發に努め或は有益なる印刷物を配布し或は名士の講演をも乞ひ專ら組合存立の意義を完からしめたいと考へて居るのである尤も之等の活動に就ては

總督府の指導と

援助に待たねばならぬことは勿論であるが是非とも中央會設立の必要を痛切に感ずるのである或は殖産銀行に金融組合

中央部なる一部

を設け中央會の仕事をやり一面中央組合銀行の働きを爲すことにするのも一法かと思ふ之は當局の一考を煩はしたい所である（完）

龍岩浦の泥炭（中）

（公州）

本邦鑛業法補註を適用　泥炭埋藏所在地の區域は全部民有地にして採取の契約は地主と買主たる支那人との歩分け又は地主直接支那人を雇傭して採取するもの又は支那人の請負採取によるものあり一定せず從來支那人の手當は食料を主持ちとして一箇月十圓內外なりしも是を受くる支那人の多くは金錢の授受を喜ばず其の代償として七厘を持ち返るの慣例あり生産高は大正七年に於て約二百餘萬個大正八年に於て二百五十萬個以上に達するの見込みなり

採取時期

採掘の期間は例年解氷後より六七月迄にして其の後に於ては地中に水分多き爲め採掘困難なるも本年の如きは降雨寡少なりし爲め冬期（十一月迄）尚ほ採取を續けつゝあり採掘費は層の深淺難易及び厚薄により必ずしも一定せしものにあらず殊に最近勞銀高の關係上採掘費の向上は已むを得ざる處にして大正八年に於ける採掘費は平均千個四圓見當なるが昨年に比し一圓內外の割高なりとす

取引狀況

本品は前に述べたる如く主として支那人の取扱ひにかゝるものにして鮮人地主に對し支那人の請負採掘なる地方にありては多くは需用者と支那人との取引なるが鮮人の需用者に對しては採掘地に於て取引するものとす取引相場は昨年迄は一個七厘なりしが本年に入り一圓八厘に取引せられ居れり輸出向きにありては右の外運賃其他の諸費を要するものにして採取地は江岸より一里內外を隔て對岸龍岩浦の東南面江浦を以て積込地とす而して積込地迄の諸費元松洞より活江浦迄一個二圓、貞觀洞より同上一圓七十錢、中城洞より同上一圓十錢、船積費用四十錢を要す

需要狀況

鮮內に於ける需用狀況を見るに鮮人間に燃料として使用せらるゝに到りたるは最近の事に屬し主として生産地方民の一部に於て使用さるゝものなり元來鮮人の温突裝置は燧高き爲め使用の効力薄く現在に於ては薪材燃燒後の保温料として少量を使用するに過ぎず今更に其の燃燒を完全にせんとせば特別の裝置を要すべく從來の構造に一の工夫を要すべし一方支那に於ける需用狀況を聞くに前述の如く本品の需要者は支那人にして採掘せらるゝもの、大部分は支那に輸出せられ其の主なる需用地は安子及び安東方面にして一部は更に山東方面に輸送せらるゝものありと云ふ、本年十月迄安東に仕向けられたる數量は百九十八萬五百個、價格一萬三千八百七十一圓皮子口に向けたるもの五十一萬八千五百五十個、價格三千九百八十七圓なり支那に於ける相場は不明なるも安東方面にて一千個十五圓、皮子口方面一千個三十圓、山東方面はより以上なるべし（未完）

四鄭局員の更任　今後の工事

四鄭鐵路局技師長藤根工學士は今回滿鐵本社に復歸し其後任として鮮鐵道建設事務所長たりし久門雄二氏に內定し年內に着任を見るべしと云ふ遼河大橋架橋新工事の爲め努力したる岸保線主任は今度滿鐵長春に轉任し次に四鄭局工務部に於いて課長格の位置にあり內外の事務を圓滑ならしめし立石保線氏は滿鐵本社に轉任を命ぜられ、四鄭鐵道工事も愈々明年より着手する筈なるが本鐵道は藤根前技師長が局員を督勵して其衝に當り完成せるものなるが後任技師長が果して其跡を踏襲するや否や次に建設材料の如き未だ準備ならざる狀態なれば凍結中運搬の尤も便利なる期を利用し得るや否や疑問なり若し此好運搬期を空しく經過せば明年度は大體に於て土工位に止まるのたるべし（四平街）

江原道知事訓示（一）

江原道知事元應常氏が過般郡守會議席上に於てなしたる訓示大要左の如し

歐洲大戰の結果思想の動搖甚しく加ふるに異常なる經濟界の膨脹に伴ひ私利射倖の風を生じ人心漸く驕慢に傾き道義亦衰退の兆あるに當り今春各地に於て不祥なる騷擾の勃發を見るに至り本官は各位と共に夙夜人心の安定に全力を致せしと雖不幸にして騷擾は本道各地に波及し各位の最も困難なる地位に陷り寔に同情に堪へざるものありしが此間克く內は部下職員を統御指導し外は民衆を懇諭撫し之か渦中に投せし者比較的少數なるを得たるは各位の努力に俟つ所少からざりしを信じ深く多とする所なり

思ふに騷擾の原因は總督政治に平ならざる不逞徒輩が國際聯盟及民族自決の美名を假りて之を煽動熱惑したるに在りたるか如しと雖も日韓併合の趣旨未だ充分徹底せず且帝國の世界に於る地位を諒解せざる亦其の主要なる原因なりと認めらる殊に地方に於ける騷擾は既に鎭靜に歸し國際聯盟民族自決に對する誤解漸く氷解するに至りしと雖騷擾の餘燼未だ全く絶滅せず人心の安定全しと謂ふべからざるに鑑み更に此感を深くせざるを得ず各位は日韓併合の理由は韓國か禍亂の禍源なりしに鑑み日本帝國の安全を保障し東洋の平和を確保するに在ると共に日韓併合は實に朝鮮人民の福利を增進するのみならず寔に內鮮共榮の途たる所以を闡明するに努めらるべし

ガイダ將軍生擒當時の慘烈なりし光景

昔の戰を其儘の凄絶なる一刹那

浦鹽に於てはロザノフを破り浦鹽に於ける極東總督の政權を握らんことを密に計劃し居たるチェックの將軍ガイダが一敗地に塗れてロザノフ軍の爲めに捕虜となりたる刹那の光景は慘憺を極めたり軍は停車場の攻擊を開始するや先に陸軍に勝利の運命を握みたる一隊は驀然突擊して占領し構內に闖入したる時ガイダ將軍は

單身敵前に直立

して全身には砲彈の破片を受け鮮血淋漓たるにも屈せず右手に一個の爆彈を握り寄らば投げんと身構へたるためロ軍方は近寄るを得ざりしが一歳兵は身を挺して鐵砲玉の如くガイダに飛び付きて引倒し同時に他の兵が群がり重なつて

遂に生擒捕縛し

たり今數分餘裕ありしならんには將軍は副官に扶けられ米國軍艦に遁入する所なりし、捕虜となりし彼は鎗劍を擬せる數十の兵士に前後左右を圍まれ蹴るが如くにして自動車に乘せられしが極度の疲勞と負傷の疼痛に堪へ兼ねてや車內にて敵兵の肩に凭り掛りゐたるを見たり拘禁中は與へられたる

食物を攝らずに

誇ただしく憂鬱に陷りゐたるが二十一日には稍元氣を恢復したる模樣なりき一日置いて二十三日は將軍が露國領土に止まる最後の日なり此日竟に浦鹽發の安全丸に便乘して敦賀に向け出發したるが之れにて彼は露國の土に永遠の訣別を告げたる次第にて

敗將の胸中無量

の感ありしならなるべく思ひやられて哀れなりし尙將軍は初め東京に暫く滯在する筈にて帝國ホテルに投ずる事に愈々決定し其後米國を經て故國に歸る豫定の由なりしといふ（哈爾賓）

人口の增加と大連市街擴張

大連の人口は現在十二萬と稱せられ居るも實數は勿論それ以上なるべく然かも近年異常の比率を以て增加しあるを以て茲數年を出でずして二十萬臺を突破すべしとは一般の豫想する處なり當局に於ても此の趨勢に鑑み之に適應すべき市街擴張に對し大いに意を用ゐ居れるもの、如く聞く處に依れば來年度に於ては南伏見臺より北沙河口に亘りて力を注ぐべしと云ふ（大連）

商況

株式

東京株式（五日第一立會）

	前引	前日比
東株	四五七、〇〇	一、〇〇〇安
同新	四六三、〇〇	一、〇〇〇高
南滿	一七四、九〇	一、九〇〇高
同新	一七二、〇〇	二、〇〇〇高
一新	一四三、一〇	一、〇〇〇高

京城現株

	拂込額	標準
仁取	[illegible]	一七九、〇〇〇
朝郵	[illegible]	四二、〇〇〇
電興	[illegible]	一六、五〇〇
皮革	[illegible]	二五、五〇〇
[illegible]	[illegible]	[illegible]

京城電氣低落

京城電氣株は當株六十圓處に保合ひ居たるが昨日入電は五十八圓五十錢と一圓五十錢方の低落を報ぜり

ツルチユク株

銀行株安一因

氣迷ひの場面

朝紡更に低落

東拓一新上向

安東信託低落

北濱だより

米況

東京期米特電

大阪期米特電

神戸期米特電

仁川期米

京城正米市場

釜山正米市場

仁川正米市場

在米更に減少

京城在庫穀物

演藝案内

ベスパー石鹼　VESPER TOILET SAVON　大連 萬玉洋行

高木鞄店　京城本町一丁目　電話二五四番

山邑酒造株式會社醸造　サクラ正宗

觀相　石龍子先生直傳　酒井三郎太

雨覆シート廉價調製需に應ず　綿帆布撚糸商　大谷商店　大阪市西區南堀江下通り二丁目

丈夫で安い實用靴　ツブク靴店

小野專門分工場

伊達騒動（だてさうどう）

小金井芦洲講演

第七十九席

鐵之助和助を疑ふ

松前は心の裡に『アヽ廣尾の奴氷だな』と思ひながら掛れ違ひ振り廻ると荒木は虎口を遁れたと云ふ風でビシャ〳〵ビシャ〳〵早足に行くのを見て居ると、長骨根小鬢の一刀、鐺の金の物がピカリと光つた　鐵『ハテナ赤合羽に饅頭笠、身扮は下郎のやうであるが大層立派な刀を帯用して居るな』と思ふた儘、松前は自分のお小屋へ立ち戻つて參りましたが快の裡に思ふやう　鐵『夫れに就いても最前見た廣尾の提灯を付けて居つた下郎は訝しい、妙なことがあればあるものだ』と、あれよ是れよと考へれば疑へば不審の廉は品まるばかり一思案して　鐵『文助〳〵　文『ヘエ、お呼びになりましたか、エヘヘ　鐵『恐ろしい降りだな　文『どうも大層な降りでしてムいますか　鐵『此の雨は暴風雨でございます　鐵『此の雨中誠に心なしのやうで氣の毒ではあるが、鳥渡其方使ひに行つて來て呉れんか　文『ヘエ、畏まりました、何方まで……　鐵『御通用へ參つての夜に入ての出入りの者を鳥渡聞合せて來て呉れろ　文『ヘエ、畏まりましてございます』至つて氣輕に表に飛出した文助『オー〳〵甚い降りだ、こりやア大荒れだな、アヽ此位の所で治まつて呉れねえと、明日は彼方の塀が倒れた、此方の垣根が倒れたと飛んだ御用が殖ゑて急がしくて成らねえや、天氣と云ふから是れも仕方がねえが、エヽ甚い〳〵モシ〳〵御通用お詰合樣、手前松前の文助ですが……　番『オヽ文助か、何だ　文『鳥渡お尋ね申しますがな、今晩になりましてから當御通用のお出入りは何と何でございましたな、鳥渡主人から尋ねて來いと斯う云ふことで　番『ア、然うか、左りや〳〵、降る中を御苦勞だな、申上げて呉れ、豆腐屋が二人に酒屋の丁稚が一人、肴屋が一人、それだけだ、　文『ア、左樣でございますか。御世話樣でございました』と立戻つて來て　文『ヘエ、旦那樣、往つて參りました』鐵『大きに御苦勞だつたな、何ぢやの』文『豆腐屋が二人に酒屋の丁稚が一人に肴屋が一人、是だけでございます』鐵『フムー、イヤ大きに大儀……　文『ヘエ、』　鐵『ア、コレ〳〵文助』文『ヘエ、』鐵『モウ一遍往つて來て呉れ　文『さ……左樣でございますか、エヘヘヽ　鐵『妙な笑ひ方をするではないか、町人ばかりでなく武家の出入りも尋ねて來なけりや不可ない　文『左樣でげすか、では往つて參じます』と雨の中を出掛けて往つた　文『ヘエ御通用お詰合樣……』と呼んだが愈々降りが强いので人見がピツタリ閉まつて聞ねない、トン〳〵　文『お詰合樣　番『何だ喧しい　文『御面倒相濟みませんが松前の文助でございますが　番『今晩日が暮れましてから當御通用のお出入りは　番『分らんなあ、今來たばかりぢやないか、先刻云つて聞かせた通り……　文『イエ、夫りやア分つて居りますが町人ではない、武家方のお出入りを伺つて來いと斯うムふので　番『ア、然うか、初めて云へば一遍で濟むではないか、日が暮れてからは御家中の方は誰方も市中にお出掛けなすつた方はなし、お出でになつた方もない、此の大雨だ、誰が來るものか　文『エ、ございませんか　番『來ない……オツトく文助あつた、廣尾樣から荒木和助さんと云ふ人が見えた、御勘定方の長谷川樣にお通りになつた、　文『有難う存じます、お世話樣』と……とん〳〵戻つて來て、文『ヘエ只今行つて參りました』鐵『御大儀であつたな、如何だの』

チョコレート

ローヤル石鹸

安カロー ヨカロー ナンボ洗テモ スグ直ル 朝夕顔洗ニハ 輸入元

京城 ビワコ屋糸店 小間物業店ニアリ 電話九〇五番

將棋新手合（四）

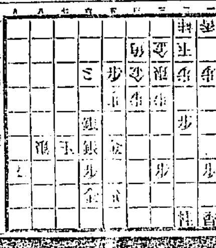
於京城賞金町三丁目二五 溝呂木將棋 (電話二〇二八)

角落六段 △溝呂木光治氏（京城）

二段 ▲園田 豊氏（釜山）

（圖は前號指す迄の局面）

△持駒 溝呂木氏 桂 香 歩三



前號の指手の續き、△八五玉▲八一香(リ)△八三歩▲九五歩△七四玉▲九四歩△八二桂▲四香▲五一角△七三歩▲九二桂▲七六桂▲八四桂△同桂▲八三銀△六四玉▲八四歩△七四桂▲八三桂△七六銀▲六一香(ヌ)以下次號

溝呂木六段講評

▲(リ)八一香以下良く攻めたり手順明妙にして良し

▲(ヌ)六一香は良き手なり上手方隨手に皆み萬一た押手の他なし

十二月七日

（舊）十月十六日 日曜日

▼四緑▲殊に念入りに爲すべし

▼五黄▲旅行をなすには用心して行くべし金錢に縁ある日なり

▼六白▲金錢に縁ある日なれど酒色のことを一切注意すべき日

▼七赤▲思ひしことは七八分通りのこゝろにて我慢すべき日也

▼八白▲空景氣の兎角に多き日

▼九紫▲手違ひの生ずる覺悟にて目論まば、失敗を免るべし

▼一白▲掛合は柔かく出べし、疑ひを起さば際限なしと諦むべし

▼二黒▲名譽の揚る日なれども燥せりて事を爲さば失敗すべし

▼三碧▲親しみのある日にて共同事業には殊に有利なる日なり

皮膚科 皮膚病 黴毒 淋病 （診察夜九時迄）

京城明治町二丁目（入院隨意） 佐藤醫院 電話一一七參

キット効く 女のくすり

母の命（いのち）

寄贈御知らせの方へ婦人病自宅療法書を無代進呈

東京市京橋區新榮町四丁目 笹岡省三藥房 振替東京五〇五〇番

價藥 三日四十錢、五日一圓 一週一圓卅錢、二週二圓五十錢、五週五圓 各藥店に有

安心の出來る靴

ボックス皮製編上 一號 五圓五十錢 二號 六圓五十錢 三號 七圓五十錢 四號 八圓五十錢 五號 九圓五十錢

ボックス皮製短靴 一號 五圓九十錢 二號 六圓五十錢 三號 七圓五十錢 四號 八圓五十錢 五號 九圓五十錢

ボックス皮製深ゴム 一號 六圓五十錢 二號 七圓五十錢 三號 八圓五十錢 四號 九圓五十錢 五號 十一圓五十錢

御注文の節は靴の種類、代金及足の長さ文数等詳細御通知次第御送付可申候但送料は各自御負擔の事 皮見本付カタログ御希望の方は御照會あれ 郵券二錢を要す ▲御呈可申候 ▲御用命の程を

東京府御用 東京京橋 日野靴店 電話京橋三一九 振替東京九九五一

山笹章著 ウツボ屋書店發行

新案獨學 イロハ辭典付

鮮語自在

定價金六十錢 ポケット形二百頁（送料貳錢）

上製クロース 定價金八十錢（送料四錢）

發賣元 京城日報代理部

小兒專用 解熱新藥 オイン

◈小兒ある家庭には是非備へよ。

◈七才以下の子供のかぜねつ良藥。

オインの特長 ①最新高貴藥配伍 ②小兒に服用し易く ③些も副作用なし

主効 かぜねつ 流行性感冒 肺炎 麻疹 百日咳 ねつ一切

大人のかぜねつに丹平の蛇印アンチピリン丸が一番よい

藥價 十錢、廿錢、卅錢、五十錢 全國各藥店に取次す

本舗 大阪順慶町 東京箱崎町 丹平商會藥房

金銀賞牌廿四個受領

まだ〳〵健康になる

創業以來四十年間 日本一の賣行ある

美味滋養 蜂印香竄葡萄酒を

每食前一杯づゝで 常に缺さず召し上れ どなたもまだ〳〵健康になる！

東京本町 近藤利兵衛商店

OXYDIATHERMIE

酸素透熱療器

▽疾病の根治と健康の増進を望む人に△

オキシデアテルミー

本器は醫學士考案の本器は磁氣と熱電流との力に由り空中の酸素を自在に身體に攝取吸收せしめ血液の循環を盛にし諸機能を活躍して眞に諸疾病を根本的に治癒す故に一度本器を使用すれば脈搏は整調强質し呼吸は深大となり温感は増加し次で食慾の亢進、兩便の快通、腰痛、頭痛、安眠等を來し神速に生理本能を回復す然も電氣の如き不快の刺戟なく効力永久使用簡便なり

▽定價 家庭用金貳拾七圓（送料卅六錢） 營業用金參拾七圓（送料六十三錢）

實驗說明書進呈

東京市芝區南佐久間町二丁目一番地（電車通）

合資會社 オキシデアテルミー商會 電話新橋一五三三番・振替東京三九五七一番

▽代理店希望の士は申込まれよ!!

特約代理店募集

營業品目錄

海産物、乾物、諸材、漬物各種 茶、漆器、荒物、醬油、化粧品 金物、家具、酒類、石油、雨具 針金、細工物、土瓶、文具 線香、紙類、服物、洗濯石鹸 蠶糸、綿類、陶磁器、土管 石鹸、鮮向日用品、セメント、コールタール

其他日鮮人向日用品一切

◎豐闌買入

龍山 組代理店 仁川新町 津田兄弟屋本店 長電話七六二番 振替京城三八九番

京城明治町二丁目 津田兄弟屋支店 電話一參四〇番 振替京城三一八一番

黃海道兼二浦 津田兄弟屋出張店

MITSUWA GINSENG WINE.

Mitsuwa Ginsing Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous debility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria. Price ¥ 1.80

◎ミツワ人參葡萄酒（みつわ・にんじんぶどうしゆ）

疲勞を醫し新活力を賦與すべき模範的强壯料

定價 壹瓶 金壹圓八拾錢（內地以外は郵税運賃を加ふ）

風味高潔清和滋養豐富 元氣增進興奮作用優秀

（現品縮寫圖）

本品は最近科學的研究を經て、効力卓絶なりと認められたる人參を周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして、其の色は紫紅にして鮮麗、其の香は芳芬にして爽、其の味は濃厚にして軟快、加ふるに流布せる類似品とは全く其の撰を異にし、能く何人の嗜好にも順應し、元氣を奮起せしめ、榮養の佳良並に身體の强壯を促し、精神の困憊並に筋骨の疲勞を除き、常に讀書者に新活力を賦與し、活動能率を増進するに於て他の物を以て代ふべからざる効果あり、本品は隨時隨處飲用すべく、一度沸騰したる水或は諸種の清涼飲料を以て稀釋するも可なり

▼如斯人は◎ミツワ人參葡萄酒を用ふべし▲

一 元氣を盛にしたい人　一 精神を爽快にしたい人　一 體力を増したい人　一 身體を强壯にしたい人　一 元氣良く活動したい人　一 延年長壽を願ふ人　一 精神や筋骨の疲勞を早く回復したい人　一 食慾を進ませたい人

一 消化を良くしたい人　一 榮養を良くしたい人　一 精力が減り元氣の無い人　一 勉强又は勞働して疲れた人　一 生來虚弱な人　一 身體の痩衰けて居る人　一 貧血して居る人　一 顏色が蒼白で活氣の無い人

一 手足や腰が冷て困る人　一 寝つかれぬ人　一 些細の事まで氣にかける人　一 悲しい事も無いのに泣きたい人　一 精神の鬱々する人　一 時々氣を失ふ人　一 陰萎、遺精、神經衰弱に悩んで居る人

發賣品目錄御申越次第送呈　ミツワ石鹸本舗　東京日本橋區橘町　丸見屋商店

Scientific Research Made

MITSUWA GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .50 500 tablets ¥ 2.00

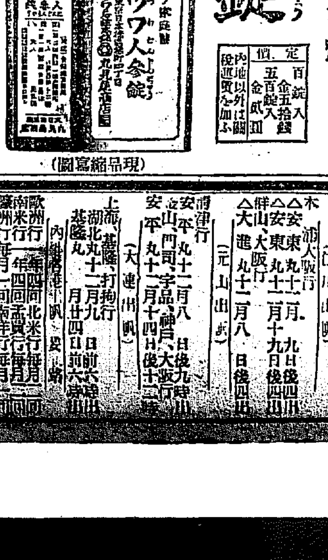
This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

◎ミツワ人參錠（みつわ・にんじんぢやう）

人參の効價を極度に發揮すべき代表的人參劑

定價 百錠入 金五拾錢 五百錠入 金貳圓 內地以外は郵税運賃を加ふ

主效 神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、榮養不良、精力減退



（現品縮寫圖）

ミツワ化學研究所に於ては、周密なる學識と實驗とに依り、漢藥人參を系統的に研究し、鎭靜、催眠、利尿、興奮、强壯等の諸作用を呈することを闡明せり、ミツワ人參錠は該研究を基礎とし、合理的に精製せるものにして、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー及是等の疾患に發現する諸症候、即ち精神興奮、情調異常、意志薄弱、記憶力減退、判斷力記憶力減退、睡眠不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、遺精陰萎等に對して偉効を現はし、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく、之を腎臟炎に適用すれば、尿異常其他の苦悩を除き、分娩前後及び諸種熱病疾患に因る貧血並に榮養不良を恢復し、又精力減退即ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒やし、頭腦を明晰にし意氣を旺盛ならしめ老衰の諸因を去る等の卓効を奏す

◎ミツワ人參錠適應諸症候

一 頭が重く或は痛く頭の内が朦朧する人　一 眼の疲れ易い人　一 逆上て光平となる人　一 眠らうとしても眠れない人　一 夢魔に襲はれて困る人　一 いろ〳〵の夢を見る人　一 些細の事にも怒り易い人

一 精神の鬱々する人　一 悲しい事の無いのに泣きたい人　一 何事も厭世して觀る人　一 物事を深く考へる事の出來ぬ人　一 物事の理非判斷の出來ぬ人

一 物事の記憶の不良い人　一 神經衰弱に罹つて居る人　一 血の道に罹てる人　一 陰萎や遺精で悲觀する人　一 腦病に苦しむ人　一 老衰を防ぎたい人　一 精力を强くしたい人

大阪商船出帆

（仁川出帆）

木浦大阪行 △安東丸 十二月九日 後四時

群山大阪行 △安東丸 十二月十九日 後四時

△大進丸 十二月八日 後四時

（元山出帆）

浦津行 安平丸 十二月八日 後九時

釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 十二月十四日 後十二時

（大連出帆）

上海、基隆、打狗行 湖北丸 十二月九日 前六時

基隆丸 十二月廿四日 前六時

內地各港出帆は要略

歐洲行 毎月二回　北米行 毎月二回　南米行 年四回　濠洲行 毎月一回

御注意 外國航路は出帆時刻の九十分前に御乘船の事 ◎御乘船切符は一時間前限り發賣仕候

大阪商船株式會社仁川支店 電話二二番 二一〇番 五五番

京城內 朝鮮郵船會社內 京城本町 ... 仁川本町 ... 仁川港町

共同汽船出帆（仁川）

▲秦皇島行 第二共同丸 十二月五日 午後

第十一共同丸 十二月七日 正午

▲青島直行 第六共同丸 月 日 後

▲大連直行 第十三共同丸 月 日 正午

朝鮮鐵道主要驛にて大連、青島行定期船の旅客運賃を取扱ふ

仁川代理店 阿波共同汽船株式會社 本町四丁目 電話二七三番

元山代理店 田口回漕部

京城取次店 南大門通 河村運送店

朝鮮郵船出帆

大阪朝鮮航路の爲め發著日時變更する事有之候に付詳細は本社又は各地支店出張所代理店に御問合あれ

▲敦賀行 清津、城津、元山經由 立神丸 十二月三日 元山發

▲浦汐行 大阪、門司、釜山、元山、城津、清津經由 平安丸 月 日 釜山發

▲雄基行 關門、釜山、元山、名港經由 雄基丸 月 日 釜山發 / 平壤丸 月 日 元山發

▲元山雄基線 穩城丸 十二月 日 元山發

▲大阪行 釜山、關門、神戸經由 春日丸 月 日 元山發

▲關門行 各港經由 雄基丸 十二月七日 元山發 / 京畿丸 十二月九日 釜山發

鬱陵島行 盈德丸 十二月 日 釜山發

釜山濟州島 宗信丸 慶寶丸

▲濟州島行 昌平丸 十二月 日 釜山發

▲濟州島行 東萊丸 十二月五日 木浦發

四國公州丸 十二月 日 木浦發

▲釜山麗水線 / 木浦麗水線 細天丸 月 日

多島海行 慶興丸 十二月 日 木浦發

▲木浦行 晋州丸 十二月八日 仁川發

▲海州行 宗信丸 十二月三日 仁川發

▲大連青島行 江原丸 月 日 仁川發

本社 京城南大門通 電話長 三二二、三二三

釜山佐藤町 釜山支店 / 元山海岸通 元山出張所 / 仁川代理店 堀回漕店 / 木浦代理店 山野回漕部 / 京城荷客取扱店 松原運送部

其他各寄港地ニ荷客取扱店

京城日報

京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社 電話番號長六千九番 編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介

京城日報 對西伯利政策（上）

帝國の對西伯利政策に關しては、過般來數次の閣議に於て議せられ、又外交調査委員會にも附議せられ、其決定を經て、米國其他關係列國に通牒して、圓滿なる協調を遂ぐる事となりたるが、關係列國中、英佛二國は既に西伯利より撤兵したるも、米國は少數ながらも尚守備兵を駐屯せしめつゝあり、且つ昨年[illegible]米國の提議に依りたる[illegible]兩國政府の意嚮に最も[illegible]を置かざるべからざる成行に在ることは、自他共に明白なる大勢なるが、最近に至り、同國政府より日米協調して西伯利の現狀維持に努力するに同意なる旨の回答に接したりといへり。即ち我派遣軍の戰死傷病兵に對する約一千の補充は、何等の故障なく遂行せらるゝに至り、所謂西伯利問題も爰に小段落を告げたる譯なるが、而も是れ當面の應急策にして、要するに姑息の手段に過ぎず。若夫れ對西伯利問題（即ち對露政策）を徹底的に解決せんには、更に幾多の難關を經過せざるを得ざるなり。

[illegible]西伯利政策に就て[illegible]國との協調を進むるに先ち、國論を統一するの必要あるを考ふ。近時言論界の一部に於て、西伯利派兵を以て帝國外交の大失策と爲し、英佛二國の撤兵撤退を引用して、減兵又は徹底を說くもの少なからず、議會大會に於ける加藤總裁も亦[illegible]政府の演說を爲し、反政府の[illegible]でたり。吾人は此種の言を聞く每に、其帝國の地位を解せず、又西伯利に於ける我が邦人の狀況を無視し、徒に外國の流行に乘りて引込思案[illegible]劣なるに驚かざるを得ず。蓋し對露政策は列國の共に困難とする所にして、就中英佛兩國の如き五年間の大戰に疲弊を極めたる國々に在りては、對內政策上多少手を引かざるべからざる關係に在ること、察するに難からず。英國首相ロイドジョージ氏が、下院に於て、露國過激派討伐に就いて與へたる答へ『英國は日佛米三國の援助を合せたるより以上の援助を與へたりと思考す』と揚言し、且つ『佛國納稅者をして此上の負擔を爲さしむることの不可能なるの故を以て、佛國と對露援助を打切るの協定を結びたる』を報道したり。是れ明かに英佛兩國の對露政策が內政の牽掣を受け、中途にして當初の目的を擲たざるべからざるに至れるを語れるものにして、英佛の識者間に之れを遺憾とするもの、少からざるは固よりなり。然れども、翻つて英佛の立場を考ふるに、たとひ對露援助を打切り、之れがため歐露の反過激派軍が容易不振に陷る（現にユデニッチ軍の機敗とデニキン軍大後退を傳ふ）とも、之に伴なふ苦痛は、間接の影響を受くるに止り、我邦とは全く其の趣を殊にするを以て、其歐露の撤[illegible]は、我が範式とするに足らざるなり。且夫英國は全然對露政策を擲棄し、過激主義の跋扈を容認し去りたるにあらず、陸相チャーチル氏の明言する如く、過激主義者の理想を以て最も罪惡に有害なりとし、其の非人道的殘虐性を憎惡し、世界共同の敵として、一日も早く之を撲滅せざるべからざることを認めつゝあり。其の西歐反過激派軍に對する物資の援助及び海軍力の壓迫は、今猶之を繼續しつゝあり。ここは、我が徹兵減兵論者の大いに參考と爲すべき事柄にあらずや。

天道教と侍天教

（二）立教の由來（一） 渡邊彰氏述

何れの時代を問はず先人未發の新說を唱へて人心救濟の綱に充てむとする新現象の起るは一面より見れば其の時代の要求に應じて發生するものなれども亦一面に於ては既成の宗敎に滿足する人々之を悅ばず一概に見て以て異端邪說となし之を排斥するに努むることは內地に於ても亦朝鮮に於ても古今其の實例を見るに乏しからず距ち今を距る六十年前に在りて慶尙道慶州府の一寒士たる崔濟愚が己心所行の實感を以て天の明命による古今無比の大道と稱し新に唱導せる朝鮮の實狀は正しく之を語るに恰當の適例なりとす。依つて今立敎當時の國情と彼をして新敎創始の念を起さしめたる情緒に關し其の要を摘みて之を一言せば[illegible]詮を錄せる東經[illegible]かなり。然り而[illegible]年前に於ける[illegible]すれば今更言新[illegible]なく、一方に於[illegible]人民に不安の念を[illegible]於ては常時支那[illegible]險を經て渡來せる書籍が巧に當路の眼を偸みて奢々風化を及ぼす形勢有取し是れ民性に消蝕を被る大事なりと斷じ即ち立て之に抗し其の壅閉を防ぎ以て浮華の如き民心を統一的に救濟せむとするもの是れ立敎の趣旨にして又崔濟愚の初一念なりとす。而して[illegible]年考究の功を積み其の成果として發表せる敎義組立の綱領は大要左の如くなりと云ふ。曰く、儒敎は名節に拘りて未だ玄妙の域に達せず。佛敎は寂滅に入りて倫常を絶つ。道敎は自然に悠遊して治平の術を缺く。故に此の三敎の短所を捨て其の長所を取り之を無極の圈內に圓融して人に誠敬心の三要を貫くせしむるに若かずと悟了せるもの。是れ此の敎へを成立せしむる基礎なりとす。今之に對し試に評言を加ふれば當時崔濟愚が儒敎の力のみを以てしては到底非怪敎の[illegible]に對抗して其の壅閉を防ぐ能はずと斷じたる一事は今日に於ても萬人の均しく異論を唱へざる所なり又佛敎は朝鮮に渡來後旣に久遠の歲月を經たりと雖も當時の國制に於ては良民の僧侶と爲ることを禁じたる時代なれば取つて以て一般國民を敎化する主力となすを得ず又老子を宗とする道敎は個人銘々の嗜みとしては敢て之を咎めざるも英祖王二十年甲子の歲（延享元年）十一月の官誥に係る道學非徒聚集の禁止及正祖王九年乙巳の歲（天明五年）に於る道流取才廢止の旨趣に從へば是れ亦國民敎化の標榜と爲すを得べきに非ず茲に至れば勢ひ別に工夫を凝らして先人未發の新義を提唱するの外なきなり斯の如く仔細に除案し來れば何れの點より考察するも迷世惑民の所爲と見ること能はず然るに不幸にして崔濟愚の提唱は當時朝鮮唯一の國敎とせる儒敎唯信者の容認する所とならず一蹴に異端邪說として之を排斥するの呼聲次第に高く且つ其の信仰上の對象を天主と唱ふるより非怪敎と擇ぶ所なしとの判釋を被り國の法令は見て以て左道亂世の所作となし遂に元治元年甲子の歲（李太王の元年）三月十日左道惑民の罪を以て其の刑を定め大邱の獄に於て死刑に處せられたり。斯の如くにして六十[illegible]新敎提唱者の身は亡びたりと雖も其の流れを汲みて活命の主力と爲す者亦少からず就中承統第二世となりたる崔時亨は正しく其の白眉なりとす。

生別死別 ＝（不許無斷轉載）＝ 服部硯月

第六回 愛兒の墓

『阿母さん、要さんは死んだのですか』

菊枝には熊本で死んだ筈の父が現に茲に生きてゐたり、今度聞けば堺に遭つた筈の要が死んだ噂があるので、殆んど夢に夢を見る心地である。

『菊枝！』能うく聞いて見れ今の俺の樣子で大概は察しやう要は堺に遭つたのではなく、俺の所に來てゐて、先達てこう〳〵沒くなつた』

『まあ要さんが……』

菊枝は又一顆の淚をすゝつた

一同は暫く無言であたが、美代子は漸くに淚を手巾で拭ひ良人に尋ねた、

『要の墓は何處に御座いますか』

『お、少し其の上の方に……』

斯う云ひながら重之は立ち上りかけたが、既に身體の自由も利かぬ。

『井上君！』

『…………』

『井上君！』

遠方で井上の返辭がした、井上は親子の者に心置なく物語りをさせやう爲めと、一には通りかゝりの人に此の光景を見られ度くないやうにする爲めに、周圍を見巡つてゐた。

『何か御用で？』

『お、あの要の墓を敎へて遣つて呉れ給へ』

『畏まりました』

母子は井上の跟に隨いて草に荒れた塋墓の間を井上の照す懷中電燈を便りに、十間許り上つて行つた。

未だ日も經たぬ新しい土饅頭の上に小さな山石が置かれて其の前には雨に濡された線香の灰が淡黑く地面を染め、左右の竹筒に挿した水仙は葉も萎んで哀れげに傾いてゐる。

美代子は署物の汚れるのも構はず、墓の前に平伏した。

『阿母さん、これが要さんですか』

『あゝ、菊枝さん、こんなになつて……』

菊枝も地上にひたと額を當てて、口の中で稱名を唱へた。

美代子は漸くにして頭を擡げ顫へる手に燐寸を擦つて途中で買つて來た線香に火を移し墓前に手向けた。花筒に傾いてゐる水仙を起して見たが、生氣なき蕊は又ぐつたりと元の如くに倒いた。

美代子は帶の間より珠數を取り出し、合掌して口の中で念佛を唱へる。暫時あつて美代子は菊枝を顧みた。

『菊枝さん、先刻の繪を出してお呉れ』

菊枝は手にしてゐた繪を無言の儘母に渡した。

美代子は繪を受取つて、要の前に擴げて供へた。

『要さん、どんなにか辛かつたでせう、阿母さんや姉さんにも逢ひ度かつたでせう、母さんも逢ひ度かつた、此處にならうとは些少とも知りませんでした、勘忍して頂戴！[illegible]きだから兵隊の馬に乘つてゐるのを書いて見れツて、此が來たらば渡さうと姉さんに書いて貰つたのに、……あら阿母さん、要さんが何時來ましたの？』

菊枝は漸く事ばかりである。

神仙爐

蜀山人の狂歌（二） 劍花坊

蜀山人の狂歌號は四方赤良と云つて居た。これは蜀山人といふ字を草體で書くと、四方山人と讀めるから、四方山人ならぬ四方赤良を響き鳴らしたのが、終に狂歌の號になつたのだ。朱樂菅江、唐衣橘州を併せて天明の三大人といはれた。蓋しこの三人で天明の狂歌ぶりを勃興させたのである。

當時大に在りしきけば大谷に稚子を掛け取らんと思ふといふのは有名な狂歌で、當時の儒流を冷眼に見たところである。

乃公を見て又歌を詠みちらすかと海の思はん事も耻かし

は幾多下手歌人を罵しつたものとも受取られる。

隅田川花の吾妻の都鳥業平なごは在五中將

は、大いに京阪人に對し、關東兵衞の氣を吐いたものだ。

至盛の君あればこそ此里の花もよし原月もよし原

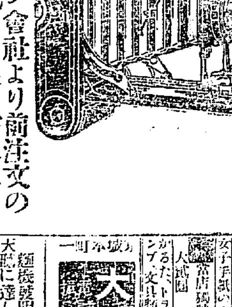
當時の吉原遊廓は、今日のやうな吉原では無かつた。

新春藝苑 投稿歡迎

▲漢詩『賦得用家早梅』（不限體）
▲短歌『初春雜詠』（一人十首迄）
▲俳句『初 化 粧』（一人一句迄）
▲隨筆『隨 意』（一人二題以內）

注意 締切十二月十五日、鐵筆を除く外用紙半紙型、鐵筆は賀物を要し印影は取らず、京城日報社編輯局新春藝苑係宛、附の事、鐵筆の返附を要する人は郵稅を添へられ度し

（最新刊）
朝鮮警察法大意
朝鮮總督府警察官教習所助教授 玉川謙吾新著（目下印刷中）
三百七拾頁 郵稅金拾錢 特價金壹圓（十二月十五日限）
警察官教習所に於ける警察法の教授を擔任し多年警察界の實務を鞅掌せられたる同氏の新著にして現行警察法の法理と實際の運用とを說くこと懇切を極め專ら警察初學者の爲めに法學初歩の研究に意を用ゐたり記述の平易明快なる事他書の及ばざる處にして斯法研究家必讀の好參考書として推奬するに憚らず。
發兌 京城本町二丁目 振替京城二四五四番 巖松堂書店

一年中のボーナス
寫眞機 一割引
諸材料 壹割五分引

米國イーストマン會社より前注文の品荷着仕候爲め此分に限り右之通り割引致候
但本月中の豫定に候へ共賣切の節は次回輸入分は定價に復し候間至急御買上願上候
京城南大門通三丁目
上田寫眞機店 京城支店
電話五四九番 京城振替三〇九五番

勞働問題の現在及將來
法學博士堀江歸一著 四六版總布裝表三五〇頁 定價貳圓五拾錢稅十二錢
本書の特徵
（一）論文にあらず觀察にあらず日本現在の事實に基きたる正確なる斷案と將來の豫測
（二）官憲、資本家、勞働者等に顧慮せざる忌憚なき意見の發表、但し行文頗る平明
（三）日本の勞働問題、勞働組合の利害、同盟罷工、仲裁、ギルド[illegible]

勞働組合指針
中目尚義譯（コール原著） 四六版一冊三八〇頁 價貳圓五拾錢稅十二錢
福田博士序[illegible]
堀江博士[illegible]
改造[illegible]
治安警察法第十七條[illegible]
勞働問題解決の二必讀書 勞資兩者の爲めに
發行所 東京 大阪 株式會社大鐙閣

刑事專門 辯護士 本木房吉
京城府黃金町三丁目二十番地（大阪ドラッグ東側小路入ル） 電話長二四一三番

一 貨物引換證 一通
大正八年十二月三日 發行 第六八號 品名 牛脂入[illegible] 荷受人 佐藤[illegible] 加治木[illegible]
右紛失仕候に付無効とす
京城府吉野町一九三 友田運送店

最新刊
大正九年日記類全部備揃
[illegible]
勞働問題の現在及將來
[illegible]
當店獨特組合文房具
大阪屋號

割增金附
勸業債券
（四拾圓券 四分利）
くじびき 賣出 割增金
十二月一日より十五日まで
初回は明年二月
最初三箇年間は年三回
三回目迄割增金總當り
三千圓＝二十本
百圓＝二千本
其他多數
自初回至三回 三千本 十五萬四千九百圓

新債券
二千円の運だめし
一枚十圓（送料十錢） 一刻も早く!!
▲特約賣 勸業債券月報社（本店 日本勸業銀行構內）
福岡支店 福岡市博多下呉服町 振替福岡九五五〇番
廣島支店 廣島市大手町 振替大阪[illegible]

製繩機の正王

▲製繩機特約店募集 製筵機、製綿機、精米機、其他諸機械製作
登錄商標 眞崎大田出張所 京城本町二丁目 振替京城六二六七番

專賣特許製麵機の元祖

特許八谷式製麵機
麵機發明の經驗長くも大膽に達し要所者眞崎照鄕は臨時發賣を下賜せらる
眞崎式製麵機

改造
新年號
階級鬪爭號
廚田河上論戰評 博士 堺利彦 室伏高信 中澤臨川
產業戰爭に於ける無抵抗主義 賀川豐彦
國家社會と階級鬪爭 高畠素之
階級鬪爭の原理 高橋誠一郎
日本階級鬪爭史論 白柳秀湖
自由の要求と民衆の勝利 野村隈畔
鬪爭と組合變化
紳士閥の傀儡 クロンウエル 山口孤劍
戀に身を亡した桑原子爵 澤田撫松
花火 永井荷風
美しい町 佐藤春夫
村の反逆者 神近市子
Y牧師の生 沖野岩三郎
定價六拾錢 郵稅二錢
東京芝愛宕町 改造社 振替東京二〇四八

英習字 通信教授
美しい英習字の規則書及び肉筆名刺にて申込次第無代進呈!!
ペン軸八錢合計四十四錢のもの僅か廿錢にて送るペン先だけなれば廿五錢[illegible]
大日本英習字研究會

火災保險開始
謹啓 多年貴地の御愛顧を蒙り居候處今回業務擴張の目的にて左記に弊社出張所を新設し迅速且つ御便宜に御取扱可申上候間倍舊の御引立に預り度偏に奉懇願候 敬具
英國ノルウヰッチユニオン保險會社
英國ユニオン保險會社 日本代理店
大倉商事株式會社保險部
京城出張所
京城大和町一丁目四十四 電話二五八〇番・二五〇九番・長二〇四番

京日案內
乳母入用
讓電話
有隣生命
戶部印刷所
紙差高給雇入
木炭卸販賣
新聞配達人募集 盛文堂
毛皮なめし
代診 松本病院
古本高價買入 文光堂書店
水晶原石買入
古ミシン高價買入 楠商店
年金恩給 江州屋本店
屋敷渡し
料理
女中貳名入用 朝鮮公論社
記者女事務員募集
看護婦及見習入用
證券擔保金融 秋葉
大島紬着荷
御會葬御禮 十二月六日 藤原弘

佛獨逸進擊
獨議定書調印拒絕の結果
獨逸が講和條約附屬議定書の調印を拒絕せることは既報の如くなるが爲に佛國は隨時同條約の事項を獨逸に强制する爲め軍隊を以て獨逸に進擊する權能を最高會議より附與されたり(巴里電報)

勃國親任狀承認
講和會議は勃牙利委員の親任狀を承認し十一月二十七日勃國との條約に調印すべし(巴里電報)

我勞働側に忠告
英國勞働黨は個人的に日本勞働側に次の如き忠告を爲した
吾人英國勞働者は百年の努力の下に今日の狀態を得たり日本が僅か二三年にして英米と同一の狀態たらんとするは困難なり政府及び資本家と充分協議しては如何

支那印度時間制
支那印度兩國の勞働時間は一週六十時間に決定せり(華盛頓電報)

政府資本側委員歸期
在華盛頓勞働會議使節中の我政府委員一行は十二月二十二日資本家側委員は一月八日何れも桑港出發歸朝の途に就く可く勞働側委員の歸朝は右委員よりも遲る可し

佛國首相留任乎
佛國首相クレマンソー氏は來る一月大統領選擧迄留任すべし前首相ヴィヴィアニ氏の言に據ればクレマンソー氏は大統領候補者には立たざる可く目下有力なる候補者はポール、デシャネル氏のみなりと(巴里電報)

グヌンチオに警告
ゴー、コースラブはダヌンチオ氏の行動に對し警告する所ありたり(巴里電報)

我對露關係不變
各代表者外蒙自治廢止抗議
北京の露國大使曰く日本はオムスク政府との關係は同政府オムスク撤退の爲め變更せず日本は從前通り軍隊及び材料等を以て援助すべし露國代表者、地方議會、消費組合委員及び各政黨代表者の會合にて外蒙の自治廢止に對し抗議を提出し右廢止は千九百十五年露蒙條約を侵害し西伯利國境の安全を脅かし供給の困難を增加するものと爲せり(國際通信電報)

我軍の增加を希望す
浦鹽派遣軍司令部に達したる情報に依れば西伯利政府退却し蒙離振はざるもイルクックの秩序は紊亂するが如き事は萬無かるべし尚ほ同地の露人は切りに日本軍の增加を希望しつゝあり(浦鹽電報)

コ軍過派軍阻止
コルチヤク軍はシーネ附近に於て過激派軍を阻止しつゝあり(巴里電報)

派兵補充と米同意
日本の西伯利派遣兵補充に就きては米國も異議無く同意す可し(巴里電報)

福州事件調査打合
福州事件に關し實地調査の爲め日本側より派遣さる人員は外務省より松岡書記官北京公使館より西田通譯官に決し不日出發福州にて支那側調査委員と共に調査を爲す可く既に公使館と外交部との間に打合せを了したり(北京電報)

親日傾向顯著
沙地方にては米國系學生の排日反動として親日熱日を逐うて旺盛となりつゝあり(上海電報)

吉林省長著任
新任吉林省長徐鼐霖氏は三日午後九時著任したるが官民の出迎へ盛んなりき(吉林特電)

鐵道大臣候補
鐵道省は豫定の如く明年新設せらるべく大臣候補者としては政友會の元田肇氏の呼聲最も高く次官には石丸現鐵道院副總裁任命さるべしと(東京電報)

文官任用令
十四日決定か
文官任用令は十日頃審査結了し十四日樞密院本會議にて決定す可し(東京特電)

高橋氏の榮譽
五氏博士推薦
…東京高師教授田中貫一、大…氏は近く博士に推薦さるゝに決定せるが高橋氏の論文は朝鮮の哲學史なりと(東京特電)

滿洲商銀支店
滿洲商業銀行吉林支店は三日開業し名古屋館にて盛大なる披露宴を催したるが安東本店よりは武村、藤本、島崎の諸氏出席せり(吉林特電)

總督府課部長任命
五日發表
總督府事務官、道事務官及び府尹の交迭は五日の官報所報の如くなるが五日附左の通り總督府課長第一部長同第二部長の任命發表ありたり

總督府事務官 菊地 …男
總督官房庶務部會計課長を命す
同(商工課勤務) 安武 直夫
同文書課長を命す
同統計課長國勢調查課長を命す
同(三重縣理事官) 郡 茂德
總督府殖產局山林課事務取扱を命す
同(慶尚北道…) 久留島新司
同水產課長を命す
同(警務局保安課長) 卜部 正一
總督府警務局衛生課長兼務を命す
同(愛知縣理事官) 渡邊豐日子
總督府內務局第一課長を命す
同(青森縣理事官) 藤原 喜藏
同警務局勤務を命す
同(內務局第一課長) 澤田 豐丈
同內務局勤務を命す
同道事務官(神奈川縣理事官) 渡邊 …
忠淸北道第一部長を命す
同(京畿道第一部長) 松本 …
忠淸南道第一部長を命す
同(休職福島縣內務部長) 片岡 文…
全羅北道第一部長を命す
同(長野縣參事部長) 佐藤七太郎
慶尚北道第一部長を命す
同(咸北第一部長) 三田 …
咸鏡南道第一部長を命す
同(總督府文書課長) 工藤 壯平
咸鏡北道第一部長を命す
同(全北第二部長) 佐々木志賀二
京畿道第二部長を命す
同(岩手縣理事官) 石川 登盛
全羅北道第二部長を命す
同(埼玉縣秩父部長) 安藤袈裟一
平安南道在勤を命す
同(長崎縣理事官) 武井 秀吉
平安北道在勤を命す

新府尹赴任地
發表期
齋藤總督三、吉松憲郎、宮館貞一の三氏は今回行政官異動に際し府尹に任命せられたるが右三氏は既に辭職せる仁川府尹村上唯吉、馬山府尹天野喜之助、勇退せる群山府尹三坪…の三氏の後を襲ふべき事なるべきが其任命は目下水野政務總監の決裁未了の爲發表は兩三日後となる可く任命と同時に三府尹の交迭赴任地も明かとなるべきか…を見る可きが宮館氏は前仁川府尹として令聞あり氏の仁川府尹任命は動かざる所なる可し

再び五十圓
期米急騰す
五日後場の仁川期米は大阪前日高に買氣熾烈となり近來の軟風を一掃して先物五十圓に寄附きアト五十圓四十錢と暴進し四十九圓九十九錢なりしも又復五十圓臺に戾上げ大波瀾の裡に一節を終りアト追數の整理に寄合を延引したるが內地の反撥は正米の頑强にあるべしと

年末の鮮銀券
一億六千萬圓か
朝鮮銀行券の發行高は一億五千萬圓臺突破して以來金融緊縮の聲は喧しく貸出警戒の爲め伸びんとして伸び得ず稍落ち着き居れるが目下の所にては十日前後迄多少の增減あるも大勢は保合ふべし唯既に新穀の出廻り愈々頻繁となり年末決濟資金も需要繁忙にて各銀行共いつまでも現狀を持續し得ざるべきにつき局年末までには約一千萬圓の膨脹は免れ難く勞て一億六千五百萬圓內外の發行を見るに至らんと豫想されそれを前年末の最高發行高に比し約五千萬圓の增加となるべきか

朝鮮補助貨缺乏
其の救濟策如何(上)
近年鮮內各地に於ける補助貨の缺乏はその極に達せるもの、如く之れが不足を愬ふる者少からず依つて今その流通狀況を調するに左表の如く明治四十四年に於ける補助貨の流通步合は一般通貨の流通總高に比し二割四分を占むるに反し(大正三年に於て二割七分)大正四年以降漸次減少し前年の如きは僅に一割一分を示すに過ぎず以てその缺乏の一斑を推知する事を得べし

鮮內通貨每年平均流通步合

年次	鮮銀券(千圓)	補助貨(千圓)	百分比例	
四四	二〇、三三三	六、五七八	七六	二四
元年	二三、〇八六	七、〇五三	七六	二四
二年	一九、六六六	六、九八三	七四	二六
三年	一八、四〇七	六、九三九	七三	二七
四年	二三、六〇七	六、九五一	八〇	二〇
五年	三三、五三三	八、六三一	八三	一七
六年	四四、四〇一	九、八九九	八五	一五
七年	七〇、三三三	六、六八四	八八	一二
八年	[illegible]	[illegible]	八九	一一

一、本表銀行券流通高は朝鮮に於ける鮮銀券流通推定額による
二、補助貨流通高は帝國補助貨(小額紙幣を含む)及舊韓國新補助貨の合計なり但し鮮銀仕拂手形の鮮內流通高は極めて少額につき之れを除外せり
三、本表以外日本銀行券及び舊韓國葉貨幣の流通するものあれど正確なる統計資料なきを以て之れを除外せり
四、大正六年末總督府は主要都市の郵便局に命じ切手を以て小貨に代用せしめたりその總計約一萬九千圓なり

前表の如き補助貨缺乏の原因は戰時に伴なふ銀貨の騰貴に因る退藏及び國外流失額等の增加に因りしと雖もその主なる原因は有價證券發行高の激增せるに比し補助貨の撤布之れに伴なはずその流通額の僅少なるに基因するは論を俟たず而して此の情勢は獨り朝鮮特種の現象にあらず內地に於ても亦略同樣の狀態にありと雖も內地の流通步合は之れを朝鮮に比する時遙に優良にして朝鮮の一割一分に比し一割九分を示せり乃ち左の如し

內地通貨每年平均流通步合

年次	正貨及銀行券(千圓)	補助貨(千圓)	百分比例	
四四	三八〇、〇〇二	一三〇、〇三二	七四	二六
元年	四〇〇、八二三	一三八、八四〇	七四	二六
二年	四〇三、七七六	一四〇、九六	七四	二六
三年	三八三、三二七	一三九、三九九	七三	二七
四年	三七四、七四一	一三三、三三三	七三	二七
五年	四六五、五九三	一三三、六三三	七七	二三
六年	六九一、三三三	一四一、八三四	八三	一七
七年	九二四、五九三	一五一、四四九	八六	一四
八年	一、三三〇、七七九	三三九、四三四	八一	一九

補助貨中には小額紙幣を含むものなり

一國金融市場に於ける流通貨幣總高に對する補助貨流通步合は幾何を以て適當とするかは國富の程度取引の大小等により固より一定する事能はずと雖も吾國既往の實績に徵する時は先づ大體に於て流通總高の二割四分を以て適當となすに似たり是に依つて之を見るに朝鮮に於る補助貨の流通高は前記の如く一般幣流通高に比し一割一分に過ぎざれば內地に比し八分の低位にあるのみならず前記標準額二割四分に達せざる事實に一割三分の低位にあり補助貨不足の聲盛んなる蓋し當然なり

鮮鐵輸送力の改善に就て
鮮鐵承認運送店組合に於ける京城鐵道局運輸課長安藤又三郎氏の講演の要旨左の如し

朝鮮鐵道は 固と貧弱で如何にして旅客及貨物を增加せんかに苦心し然るに戰爭の影響と鮮內事業勃發の結果旅客及貨物增加し之が輸送に苦心するに至つたので諸般の施設の不完分なる點を改善して居る機關車も多く購入し有蓋車を增加し又倉庫及上屋の增設も一時に之を取行し難きも現時其進行の途中に在るは勿論今後も續行する來年度に於ては停車場構內改築倉庫の增設其他に百萬圓乃至百五十萬圓を計上したい更に從業員の增加及び電信電話通信機關の增設を計り居るも收支の關係上思ふに任かせんは遺憾である

然し設備は 不充分にても其の使用法の如何に依りては事跡を向上さすは必しも困難でない夫れには第一に機關車の牽引力を少時も遊せず最極度の能率を出さしむる必要あり之が爲め每日報告を徵して牽引力の遊びを防ぎ一方には戰時中隨分機關車を使用したので機關車を增加すると同時に職工を增加して修繕を行つて居る第二には種々な考案の下に各貨車の積載力の增加を計つて居る第三に可及的停車中の運轉の敏速を計り停車場に於ける停車時間を少くすることに力を入れて居るが尙延着を免れぬ積替へに要する時間は物品により

長短あるも 材木石炭の如きは積卸に長時間を要する部類であるが第四に停車場構內より貨物を搬出することの遲延である南大門驛に於ける木材の如きは其一例であるが停車場は貨物の置場とすべきでない貨物が到着せば直ちに搬出を要するが材木の如きは停車場で取引されて荷主は既に商品を轉賣して買主が判明せぬ場合もあるので之等の如きは朝鮮鐵道承認運送店組合の如きが先づ其の範を示さんことを希望する

東拓移民承認
總計六百餘戶
東拓の第十回移民募集狀況に就ては既報の如くその申込數多く超過し有資格者にして希望に應じ能はぬるものも少からざる模樣なり今その承認に關する最近の狀況を聞くに十一月末までに內鮮に移住承認通知濟みのみは內地一府縣を併せ第一種自作移民六百戶第二種地主移民四十八戶總計六百五十二戶に達したり而して右の外尙ほ承認見込みの者あるも締切間際に申込みたるため身元調査未了なるか又は希望の場所相衝突せるため更に照會中のものにして逐次承認しつゝあり多分遠からず豫定數全部の承認を了すべしと

鮮鐵運輸狀況
前年同月に比し好況
十一月中に於ける朝鮮鐵道運輸狀況を聞くに當月は中旬以降漸次寒氣烈しきを加へ本年は比較的暖氣なりしも旅客の交通盛んなりしも貨物運…に於ては新穀の出廻りは幾分遲れたる感ありされど幸ひに昨紙の如く京義線に於ける木材及び石炭等の大口輸送ありし爲め頗る好況を極め前年同月に比し人員に三割三分噸數に五割六分客貨收入に於て四割三分を增加せり此の統計は次の如し
乘車人員前年に比し二十五萬五千九十九人增加し百三萬五千五百二十七人貨物噸數前年に比し十萬六百三百十噸增加し二十九萬五千七百五十五噸旅客收入前年に比し二十三萬八千百七十八圓增加し九十二萬六千百二十五圓貨車收入前年度に比し三十三萬三千四圓增加し九十九萬二千二百七十四圓一日一哩收入前年に比し十七圓三十四錢增加し五十七圓四十八錢

京城在米減少
京城在庫米數量は十一月三十日現在玄米六千九百八十四叺白米二百七十九叺(合計七千二百六十三叺)にして之を同月十五日現在に於ける玄米七千六百九十叺及び白米三千七百八十七叺合計一萬一千四百七十七叺に比較すると四千二百餘叺の減少なるも今や出廻り旺盛期に向へると漸く上景氣を呈しつゝあり當業者も昨今の氣子を眺めては放出の態度に出づべく出廻は漸增すべしと觀測されつゝあり

出願と金融業
會社の設立に關し其の出願の目的中單に金融業と記載する向きあり當局に於いては處理上支障少からず即ち金融業は其の意義廣汎に亘り銀行令に對する關係上妥當ならざる嫌ひあるを以て今後之等の申請に對しては其主義を明確ならしむる爲め申請附錄等適當の字句を使用することゝせりと

鮮滿貨物移動
下關運輸事務所調査本年一月以降十月末日迄の鐵道連絡による朝鮮滿洲貨物移輸入高は二十二萬〇七百九十一噸にして內下關止め二萬三千八百四噸九十行五萬〇三百九十五噸東行き十四萬六千五百八十二噸を算し又移輸出貨物は綿布一萬六千六百七十一噸綿絲二千六百七十二噸…二千百二十七噸…一萬八千三百二十五噸其他合せ十二萬四千五百四十七噸を算せり(關門支局)

大阪財界便り
振出手形警戒 上がりりこ
…相場に保戰入步合に反し下がり…害はツロマバラの買物なれば追證據金の納入も捗々しからずして窮餘の一策として空手形の振出なきにも限られざれば三品取引所にては左の各銀行振出手形以外の銀行手形は支拂證明を要する旨掲示あり
△山口銀行本店△近江銀行本店△住友銀行船場支店△尾州銀行本店△百三十銀行本店△藤田銀行本店△三十四銀行南支店

最近預金貸出
最近東京市內組合銀行本支店預金總額は十二億五千七百四十五萬餘圓にて之を前週末に比し二千三百四十八萬九千圓の減小なり更に貸出總額は十二億一千二百五十二萬餘圓にて之又一千四百十五萬六千餘圓の減少なり前週間に於ける手形交換高は金額四億八百十一萬四千餘圓其の枚數八萬六千百八十六枚にして前週間に比し金額に於て一億三千六百八十九萬四千餘圓枚數に於て十五萬九千七百八十二枚を何れも減少せり

海運界の前途
財界不安の念を抱く…當業者側の觀測によるなるが海運界は一般恐慌時代が早晚現出すべしとは去る四十一年に於る恐慌の如く急運の變化あるべしとは思はれず現に客貨共海外航路の船腹を增加し各航路共獨占の趨勢にあり…の來年度に於る新造噸數四十萬噸の初めとし大阪商船の六萬餘噸其の建造に腐心しつゝあるに見るも前途に悲觀を抱かざるものゝ如く殊に戰後の歐州視察に赴くもの非常の多數に上り各汽船會社共何れも其中込に應じ能はざるものあり郵船の如きは明年七月までは申込滿員にて居るの實情にあり尙各航路共郵船會社は航路の趨勢に鑑み米國航路の如き往復一週を短縮し近海上海航路の如き門司上海間一晝夜以內に短縮する豫計畫さる、等何れの點よりも急速に恐慌時代の出現を思ふ能はずと

千坂中將著期
鎭海要港部司令官に新任の海軍中將千坂智次郎氏は來八日頃著任すべしと

木本氏招宴
京城電氣專務木本倉二氏は忘年の意味にて來る九日花月に京城主なる新聞記者を招待饗宴する由

島田氏轉任
久原鑛業會社鎭南浦製錬所長島田利吉氏は今回東京に轉任を命ぜられたりと

鑛業會晚餐會
朝鮮鑛業會にては同會誌寄稿者慰勞の爲め五日午後七時より朝鮮ホテルに晚餐會を催し同會理事及び會員十數名出席せり

鐵道派出所改正
鐵道院釜山派出所は十二月一日より鐵道院釜山鐵道管理局釜山派出所と改稱の上名稱の變更に止り管轄は從來の通り變らざる由

人事消息
▲野口次郎三氏(總督府商工技師)歐米出張を命ぜられたるが六日朝南大門發列車にて東上便船を待ちて渡航すべし
▲谷多喜麿氏(江原道第一部長) 五日入城不知火へ
▲岡崎哲郞氏(平安南道第二部長) 五日入城 同上
▲秋重德太郎氏(北部大丸鑛業所長) 五日入城同上

鳥瞰錄
▲府內南山…に立派な記念碑がある▲而して此の記念碑には面白い話がある▲此の以前信地で片倉組が水利事業を起した際土地の鮮人等は大分反對したり不平を言つたりした▲處が水利工事が完成して年々其成績を見るに及んで鮮人等は大喜びで寄附に記念碑の建設を計畫した▲而して總代三十三名が道廳へ撰文の爲揮毫を寄せることに就いて聞いて見ると▲記念碑撰文の依頼こそ知れ大笑いは好いが▲建築の儀は何か秘密にこの事で道廳でもだまつて居ると▲何時の間やら立派な片倉組を稱讚した記念碑が出來た▲大抵が記念碑を建つることふれ歩くものだが此の發起人は秘密にこツつこ三千圓も集金して建設した▲世間には自分が進んで自分の記念碑建設を他に慫慂する者も多いのに之れは又秘密裡に建設したのは鳥渡他に見られない事だ▲萬事斯うなつて來れば眞の內鮮融和である片倉組も賞揚すべきだが秘密裡に建設した鮮人等の行爲は更に賞揚に價する▲此れ等が眞の報恩的記念碑で北鮮に實に温かな情味が湧く▲何處にもかうありたいものだ

湖南產業許可
鄕邪…氏外五十二名の出願に係る湖南產業株式會社(資本金八十萬圓)設立の件は十一月二十九日附許可の指令ありたるが同社は本店を全南光州に置き土地の所有及び農業土地賣買其の他の事業を經營するものなりと

土地物創立
釘本藤次郎氏外九名の出願に係る大正土地建物株式會社(資本金百萬圓)設立の件二日附許可の指令ありたるが同社は本店を京城府に置き土地建物の賣買土地建物賃貸付十木建築設計及工事監督並に以上に附帶する一切の業務を營むものなり

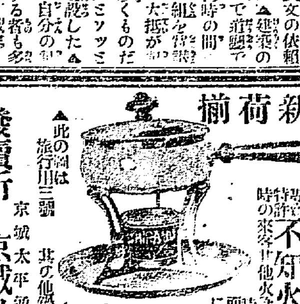
南鮮鐵道株況
南朝鮮鐵道株式會社株式の公募は五日締切りたるが鐵路は南鮮の主要産地を經過し前途有望なりとの氣構へにて募集終日の申込み頗る多かりし模樣なり

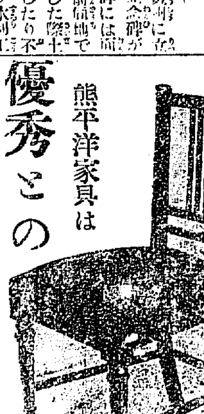
京南土地貸下請願
京南商業會議所にては襲に長谷川町に公會堂兼用事務室敷地用として五百坪を總督府より無料貸下げられたる右公會堂は常に…餘名の收容力あり不時に際し附近の空地にては高粱を來すありとし更に二百二十五坪の增加貸下け方を四日附總督に請願したりと

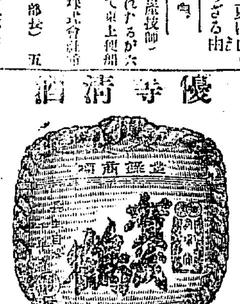
安東現物特電

大阪株式

內科 小兒科 眼科
京城黃金町三丁目(赤門通電車停留所前)
入院隨意 肛門病特種注射根治療法解說書入用の方郵券十二錢
本田病院 院長 本田建
附屬 京城肛門病痔疾療院 電話二四四三番 振替京城參貳貳八番

新荷捌 不知火

定價
發賣所 京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

熊平洋家具は
優秀との賞讚を受く

京城 熊平支店

優等清酒

廣島縣西條町 賀茂鶴酒造株式會社
京城府 河野酒店
龍山 松屋商店

一日毎に見へる效めが 梅毒 りん病毒 ひえ 一切除去ものは
毒掃丸
本舖 東京 山崎帝國堂

內科 小兒科 入院隨意
京城府明治町二丁目 電話三七八番
中島醫院 院長 中島貞信

法人登記
金良場出張所

內科 小兒科 入院隨意
古城憲治 打田義考

りん病 ばい毒
有田ドラッグ
京城黃金町三丁目 有田ドラッグ
龍山 釜山 元山 平壤 仁川 大邱 鎭南浦 開城 晉州 大連
にせ物あり
有田ドラッグ 大阪心齋橋

國境横斷旅行(六)

簡易に速製された ツルチユク酒を酌み 間島の避難民と語る

恵山鎭にて 特派員 伊藤韓堂

惠山鎭と其の附近

三道溝から酒茶に引還すと三人の〇〇隊者は肌を脱いで

甕を潰し乍ら

待つて居つたので漁時で採取したツルチユクを鍋に移し曾て鹿車洞の駐在所で教はつた方法で温火に掛けて徐々に煮ること二十分も經たぬ内に悉く溶解してドロ〜の団子飴の如なものになる、續つて之を乗て汁液に砂糖を入れて飲むと少し酸味が強いけれども生葡萄酒のやうな味がして頗る美味いものが出來た、酒に醸造するには生の

甕を潰した儘

甕か瓶に入れて保存し(甕は醗酵の時破裂する虞がある)て置くと皮に着いて居る酵母に依つて十日から十三四日迄の間に於いて醗酵作用を始むるがトロ火で煮てから其の儘保存して置くと七日位から醗酵し始めるので其れに少量の酒精と甘味を加へれば立派な果實酒が出來る(慶北洞駐在所[illegible]等兵は醗酵した液を昨年から貯藏して置つて客ある毎に砂糖と熱湯を加へて薦めて居るが頗る美味である、又茂山の原田氏の實削は

カチ〜に乾燥

したツルチユクを貰うて(茂山では乾燥品でないと手に入らぬ)一晩微温湯に浸して潰くと紫色の汁液は悉く出て了うので其れをトロ火で煮詰めて支那燒酎と砂糖を加へて飲んで居るが是れ又立派な酒である)容易く出來た酒を酌みながら彼等の話を聞くと、彼等は昨年(撫川郡生)今(楚山郡生)と宗河(三水郡生)の三人であつて

罌粟栽培の爲

め内島山に往つて居つた者である、内島山には鮮人家屋が六十戸許りあり其の地主であり又民兵保衛團(安圖縣第四保甲團)團長たる支那人戴永魁と云ふ者の家屋を取巻いて居住して居る民兵三十名中張一龍、趙氏國、李君瑞外一名の鮮人が交つて居つて戴の指揮監督を受けて居る戴の所有地は頗る廣大で約四里四方に亙つて居る由であるが彼は一人天下である丈に頗る横暴で曾て小作をして居つた鮮人金某の年若き

妻を強奪して

妾にして了つた 亭主は死亂の體で取り返しに掛つたが何うしても妻を返して異れないので今は行方不明に成つて了つたさうである、(發狂したとの説もある)斯の如き支那人の虐い行為は從來朝鮮側に於いて到る處に於いて行はれたのであるが併合後は絶對に無くなつたさうである‖〔[illegible]〕る不逞鮮人約六十名許り二月前に

突然内島山に

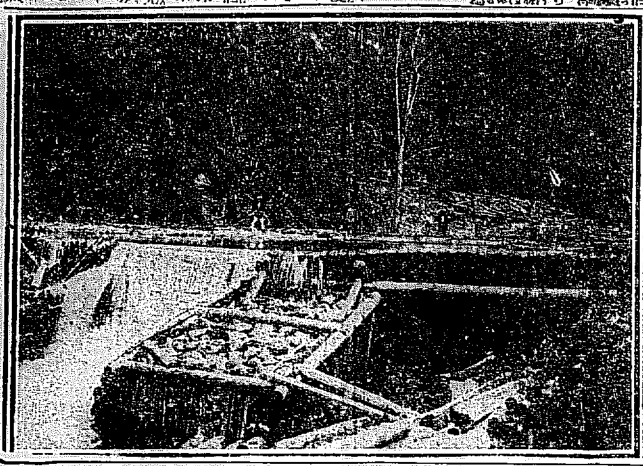
入り込み來つて姜と房と稱する客席に大〇民團臨時出張所又は〇〇軍内島山枝隊と稱する事務所を設け百姓を捕へ旅客を捕へて斷髮せしめ、木製の銃を與へて軍事教育を授け若し斷髮と練兵を肯ぜざる者は、附近の倉庫に監禁して居る、今は監禁されながら斷髮を承諾せず彼等に毎日苛められて居る者が二十名許りあるとのことである。そして現今有して居る銃器は火繩銃五挺に過ぎないが近く浦鹽から露國式の銃が數百挺來るから其迄に立派な兵士に成つて居れと激勵して居るさうである

話は大袈裟だが肝腎要の鐵砲は火繩銃五挺しか持たぬ〇〇枝隊

皇后陛下 行啓

千住製絨所へ

皇后陛下には四日午後零時半御出門千住製絨所に行啓、男女工の作業を最も御熱心に台覽あり河内所長其他關係者の御説明を聽召され夫々御下問あり午後四時諸員奉送裡に御機嫌麗しく御還啓あらせられたり(東京特電)



通南洞の鐵砲堰(記者撮影)

王世子殿下 御婚儀日取

喪明後決定

王世子殿下と梨本宮方子女王殿下との御婚儀は明春三月中旬御舉行の事に内定せる事既報の如くなるが右御日取は明年一月二十二日の喪明けを待つて取定めらるゝ事になり居れりと

露國廢帝 弑逆者

滿洲里驛で 捕はる

數日前西伯利亞滿洲里驛で露帝ニコライ二世及び其一家を殺害せる珍しい犯人が捕縛された滿洲里驛は露領西伯利亞から北滿の境界で露國の入り口であるから此處で旅客は何れも

旅券を調

べられる同日警察官は一人の怪しい青年を訊問したる所がウオストカヤ生れツジコフと云ふのだと彼に答へたが其旅券の文字はネルチンスキー軍と書いた文字を妙に

巧に腐蝕

して書換へられた跡歴明かである警察官は其者を引致して嚴重に取調べた處實はミクリコフといふもので殺害を免れる爲めに旅券の文字を書換へたと自白したものの事實其本名はペトロヤロスラフスエフと云ひ

過激派の

一員として常に手當中のもので彼れは嘗に露帝ニコライ二世と其家族とを殺害せる慘虐な下手人の一人なる事と其殺害當時の状況をも悉く自白したといふ事である其の珍らしい犯人は目下滿洲里驛に拘禁せられて居ると云ふ

大豹と格鬪

痛手を負ひ乍ら 終に仕止む

咸北[illegible]郡太馬面の志道某(三)は二日郡内佛甲山に狩獵し一頭の大豹に出會し六發の彈丸を發射せるも倒れず大格鬪となり志道は後頭部を始め左耳上左右の手首等に負傷し殊に左手首は猛烈なる咬傷を負ひたるも怯まず遂に之を屠れるが體量二十五貫の大物なりと尚志道某は生命に別條無く目下邑内瀬戸病院にて治療中なり

榮ある人 近く博士になる 高橋亨氏

『朝鮮』の研究で學位を取つた 三人目の博士

大邱高等普通學校々長 高橋亨氏

新潟縣の人で帝大哲學科出身 長論文『朝鮮の教化と教政』

近く文學博士の學位を授與される大邱高等普通學校長で學士高橋亨氏は新潟縣の人、明治三十年東京帝國大學文科の支那哲學科出身で卒業後早稲田大學に[illegible]

九州日報

主筆となり明治三十八年渡鮮して朝鮮、學校教師となり漢城高等學校教諭、京城高等普通學校教諭に歷任し大正五年四月大邱高普學校に榮轉して今日に至つたものである、提出の論文は『朝鮮の教化と教政』と題し千八百數十枚に亘つて

新羅時代

から現代に至る宗教と哲學を歴史的政治的に研究した長論文である、何しろ十二年も京城にあつたので其薫陶を受けた子弟の數は尠くない、[illegible]京城高等普通學校教諭の李[illegible]氏なども其一人である、高橋氏に親交ある學務局の弓削

學務課長

は語る『高橋君が愈々博士號を授與されますか、ソレは御芽出度い、十月十五日に博士論文が通過して學位授與に決定したのだ相で先月中旬會つた折には大に喜んでゐた高橋君は出が文部哲學科であり十餘年間朝鮮の宗教に就て研究を續けて居る、佛教は勿論儒教の研究に於ても恐らく

第一人者

であらう、京城在任の時分から研究に[illegible]十年前の事實であるから其内容も嘸立派なものであらう、今日迄に朝鮮に關する研究で博士號を得た人は總督府の記關根正直氏、廣島高等師範學校の坦氏等で高橋君は三人目であるが別に醫學界では小林晴治郎、現在植村醫學の兩博士がある、博士論文提出の人が他にもあるし目下研究中のものも澤山ある是れから朝鮮に關する研究で新博士が出ると信じてゐる』と云々

廣告料金改正

來る大正九年一月一日より本社新聞廣告料金を左記の通り改定致候

▲五號活字(十四字詰)壹行一回 金壹圓拾錢

▲六號活字(十六字詰)壹行一回 金壹圓拾錢

▲特別(記事欄込)壹行一回 金貳圓廿錢

▲掲載日及掲載場所指定料 一行毎に 金拾錢增

大正八年十二月

京城日報社 廣告部

四十萬圓の 補助貨

近く到着す

補助貨拂底の聲は一般の傳ふる所なるが最近朝鮮銀行に於て調査せる所に依れば鮮内不足推定額は三十八萬圓の見込みなり而して過般二十錢五十錢の小額券を五十萬圓取寄せ各店に分配せる外更に同年内に十錢[illegible]五十萬圓、一錢五厘二萬圓[illegible]を取寄すべく右は來る八日横濱出帆の日郵朝鮮航路船に積込み仁川に廻航し[illegible]十七萬圓他に十錢[illegible]の小額券を近く神戸より輸出すこととなり居れば補助貨拂底の聲は全く緩和せらるゝに至るべしと

口演運亭上海へ

呂昇一行六名は五日午前九時三十八分着列車にて大阪より來鮮直ちに朝陽ホテルに投ぜるが今回は渡鮮を見合せ門司より便船にて上海へ向ふ由(下關特電)

高等師範の 昇格運動

東京高等師範學校にては過般來昇格運動を開始せり(東京特電)

贈答品輸入案内 ▲米國製チヨコレート類▼ 京城南大門通 青木堂

汀華の強盗

汀華郡[illegible]四十七番地[illegible]より[illegible]ありし李[illegible]宅の[illegible]打ち[illegible]

平壌の疑獄事件

檢事局、警察の大活動

火の手益々擴大せん 既に三名拘引さる

平壌商業會議所評議員の選擧に絡る投票買收の風評嚴なりしが平壌地方法院檢事局の指揮に依り四日朝より活動を始め[illegible]に臨んで[illegible]江、芳太郎及び有權者越村治吉長島磯吉の三氏を引致し目下取調中なり而本件は或一派の非常手段に出るものにして事件は益々擴大すべく一兩日中に多數の拘引者を出す可く意外の結果を見るに至るべし(平壌特電)

緩衝機(投書歡迎)

形式教育

青の小學生

私は之迄西大門町に住んで居たが都合に依つて△△通りへ移轉したがつて之迄西大門小學校に通つて居た三人の子供も懐しい先生、懐しい學友達と別れて最寄の學校に入らねばならぬ事となつた、さて直ぐ最寄の學校に入る事が出來うと二人の子供は西大門小學校を退くたが尋常三年になる中の一人は何うしても入學が出來ぬ、何故かと訊くと缺員が無いからだと云ふ事であつた、私は之を聞くと同時に現代の教育の餘りに形式に囚はれ過ぎて居るのに一驚を喫した、假令缺員がないにしろ、タッタ一人位の學童を收容する餘地の無い事は有るまい、愈々仕方がなければ一つの机に三人並ばせた處で差支ないではないか、夫が出來ぬと云ふのは餘り形式に囚はれて居るからである、形式を去れ――是れ寺内總督が赴任の當初、一般官衙に示された警語の中にもあつたやうに記憶して居る、何事にまれ、形式に拘泥するの非なるは今更云ふ迄もないが、教育上には殊に此「形式」が禁物である、お蔭で私の子供は今ブラ〜遊んで居ます、有難い幸福なる哉

本町署長へ

御成町 町人

市内で御成町ほど盜難の多い處は有るまい、殆んど斬別襲はれて居る、無論襲はれる方にも油斷はあるが一つは其筋の警戒の目が行屆かす商者に取つて不安の數い働いて居る好い場所と云ふ事が大いに因をなして居ると思ふ、切めて日に一度でも好いから警官が巡回したらうまではないのであらうが斯樣な事は警察の内規にないのか、但しは又有つても警官がサボつて居るのか、未だ曾て警官の姿と云ふものを見た事がない、是では泥棒の跋扈跳梁する筈である、同じやうに税金を納め同じやうに義務を盡しながら治安上御成町だけが除外されると云ふのは餘る公平なことした話ではあるまいか、敢て本署長の賢察を乞ふ。

新年文藝懸賞募集

課題

▼和歌『田家早梅』
▼俳句『猿曳き』
▼川柳『ストライキ』
▼俗謡『寄宿舍』
▼物は付『可愛い物は』
▼一口噺『間の抜けた事』
▼下付『阿呆らしい』
▼謎々『御神酒開帳』
▼小品文『隨意』(十四字詰 廿行以内)
▼漫畫『隨意』

制限

(一人に付)一題一首又は一句但し一人に幾題投稿するも可(用紙)端書又は同型の紙(〆切)十二月十日(注意)題毎に別用紙に認むること京城日報社編輯局新年文藝係宛送附する事

賞品

(各題に付)一等壹圓(一人)▲二等五拾錢宛(二人)▲三等卅錢宛(三人)(但本社代理部の相當商品券を贈呈)

◎黄金館の活動寫眞[illegible]

◎筑前琵琶演奏會 市内南山町村旭汀會にては教授所開設四周年記念の爲六日午後六時より本町壽館に於て演奏會を催すなるが當夜は門下各教師連の在合奏あれば定めて盛況を呈するならん因に重なる曲目如左 村上喜劍(旭香)伊藤公(旭悲)湖南波(旭郎)寶樂(旭桜)廣川道平(旭濤)本能寺(旭佳)醍醐第四週年合(石動)汀花、汀英 旭香、旭惠、旭堂 汀世(汀旭)壇の浦(旭方)衣川(旭美)高田の馬場(旭劍)那須の與市(旭秀)菊の露(旭砂)板東山(法旭)山旭汀(以上)旭汀、旭宗、旭劍、旭峰

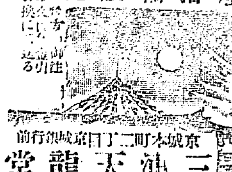
◎いろは倶樂部納會 竹本美代志のいろは倶樂部は七日午後六時より永樂町二株式競賣所階上にて義太夫納會を催す由語り物次の如し 酒屋(一樂)太十口(い)沼四(錦)八屋敷(登勝)二度日の清書(登若)沼津(とても)日吉丸(朝勝)陣屋(菊泉)鳴門(勝美)柳(殿り)

◎婦人敬愛會例會 六日午后一時より若草町曹洞宗別院にて一婦人敬愛會例會開催門脇探玄師の修養講話ある由

◎理髪商のボヤ 五日午後五時二十分頃府内瑞麟洞七十番地理髪商[illegible]道方温突より發火したれば南大門消防隊馳せ附け直ちに消止めたり原因は温突焚火の不始末にして損害僅少の見込

補血強壯 參乳 ニンサ HOSEI 補血強壯

乳は朝鮮人參中の純行効成分を乳化した補血強壯飲料であるから飲めばホコ〜と身體中が温まる



時計賞金[illegible]

京城本町二丁目京城銀行前 三浦天龍堂

各種夜光時計 四色 暗夜に光 時計の時間を知

永久不變 特價 十二圓 十五圓

夜光 大阪市東區上本町九丁目 ミカド商會

これだから防寒飲料として適當 風味高尚なるが故に朝鮮土產其他進物に適す ▲冷性の人、貧血の人、衰弱の人、病後の人方は朝夕是非一杯召上がれ

大瓶 一圓五十錢 中瓶 一圓 小瓶 五十錢 製造元 山府 朝鮮蔘乳社 發賣元 堂本蔘乳部

正しき補血強壯增進劑

ブルトーゼ

▲帝國大學病院各府縣立病院御採用▼

種類 ブルトーゼ キナブルトーゼ ヨードブルトーゼ アルゼンブルトーゼ グアヤコールブルトーゼ

發賣元 大阪道修町二丁目 東京本町四丁目 藤澤友吉商店

大瓶 一五〇瓦入 小瓶 二〇〇瓦入

説明書進呈 各地有名藥店に販賣す

理想の萬年ペン ウオーターマン 新荷着 セエフテー 全萬年ペン 四十二號 六圓五十錢 七百四十二號 八圓五十錢 萬年ペンカタログ 申込次第進呈 京城本町 篠崎文具店

マホービン各種 京城 熊平支店 電話 振替京城二一二番

代表者 杉原新吉

清水式精米麥機 各種籾摺機 新古吸入瓦斯發動機 石油發動機 電動機 新田式調帶 自轉車並ニ附屬品 其他建築用金物、各種鐵物ハ御注文ニ應ジ作製可仕候

在庫品豐富

合資會社 杉原商店機械部

大邱府元町二丁目

電話七三九・長六番・振替口座京城九二二番

十二月壹日より卅一日迄例年の通り ▼▼歳末割引大賣出し▲▲

壹等四割より六等七步引まで

時計・眼鏡・指輪・貴金屬

地方御注文に對しては割引の平均を取り全部一割引 但し純金製品は全部三步引

定價表進呈

京城本町一丁目郵便局横 中村眼鏡店 電話壹壹壹番 振替京城三四六番

仁川期米 東京現株 下關期米特電 大阪期米特電

紅の蜘蛛　江見水蔭

『四十二』　挿畫　近藤紫雲

『へえ、貴女は博士のお嬢樣ですか。然うしてあの人はお宅の書生さんで……まア、左樣ですか。之は俳し能く有る事で御在ますよ。如何も仕方が御在ませんね。既うそんな薄情な男は思切つて、御兩親にお詫びをお入れなさつて、音無しくお歸りに成りました方が宜しう御在ますわ』

さも〳〵親切さうにお百は言ひ出した。

『ですが……妾……なんぼなんでも……男に欺かれました。振捨てられましたと云つて、のめ〳〵家へは歸られませんわ』と小糸は云つて又泣くのである。

『だゝ、如何成さいます。お宅へお歸りに成らないとすると……』

『妾に覺悟が有りますわ』

『へえ、どんなお覺悟？まさか妾の家の名前に係はるやうな事をして下さりはしますまいね』

女將の畳の吸ひ方が違つて來た。

『それは、覺悟を極めたからと云つて、此方の離れ座敷を汚す樣な事はしませんわ。羽田には海もあり、川もあるのですから……』

小糸は能く思ひ込んだ樣な表情をした。

『然うですか。それなら好いのですがね。外へ出てからの先は、宅の方に責任は御在ませんが……それには、ですね、家へ出る

には出る樣にして入らつしやるのでせうね』

『わツ……』

『望海亭の勘定は、今日で三日目で御在ますが、大分御酒も出て居ります。お肴のお好みも御在ましたが、皆んな綺麗にお下げなすツてから、それから出て入らツしやるんでせうね』

『そ、それは、どうか妾の家の方で……』

『おほゝゝ、お嬢さん、その手は古う御在ますよ』

『わツ』

『お嬢さんだか、お孃さんだかどちらにしてもそんな手には、今時乘る者は有りませんね』

お百は其の煙を天井にまで吹き上げた。

小糸は今まで垂れてゐた頭を擡げて、ヂロリ〳〵と女將の顔を見た。然うして未だ一言もしないでゐる。

お百の方は燈み掛けて。

『妾だツて若い時には、そんな手でね、勘定を踏んだ上に、小遣ひまで借りて、宿屋や料理屋を出たものです。お陰で人が、その傍で來るのを見破るだけの眼力は備はつてゐるんですよ。合の痴話喧嘩で、男の方が先へ飛出して、女だけ殘つて泣れツぽく始出すなんて、誰の考へも同じだわね』

未だそれでも小糸は無言でゐる。

料理番や女中は呆れ返つてゐる。

お百は盛んに煙を吸ひ、又盛んに燧火を切る。

『主婦さん、實は是々で御在ますから、今勘定は出來ませんけれど、どうか何日頃までお待ち下さいましとか。或ひは何處まで馬を附けて下さいましとか物を分けて頼むのなら、百圓餘りの事だから、妾は機嫌克く言ふ通りに成つて上げるんだよ。それを何だい。博士の娘だツて？好い加減馬鹿におしで無いよ』

京　御たまや出張店　明治町二　電話二九六　呉服

未だそれでも小糸は默つてゐる。然うして其眼の附け方は、いつしか壁に貼つたビラ繪の女達磨に向いてゐる。

女將のお百は躍起と成つて。

『圖星を射られて一言も無いんだらうが、さア之から如何してお異れだい。文無しなら文無しで、妾の方にも考へが有るんだよ』

ボン〳〵灰吹を擲く〳〵。

日報歌壇

日向の匂ひ

□　砂丘はまぢ（永登浦）

帽子戸に折々うつる運動場の子供の顔も冬さびてけり

ほつれんど儂の流れに見入りつゝ子等かたまりて日向を待てり

陽はひそ時かきろふなべにさぼしらの日向思ひつゝ子等寒からむ

放課後の運動場にうなじ垂れわびしきかもよ日向の匂ひ

子等去りし運動場にひつそりとばし明るく疎陽さし居り

□　藤木まなぶ（平南）

砂山の砂のくづれの音だにも故郷戀ふ心誘はれにけり

姉が谷に茶碗な洗ふ音聞ゆる秋の故さとは遠し

小さき松共の根に座りしまらくは本讀みしが君な思へる

ありし日の事ども胸に思ひ出で山に上れるわが姿かな

わが過去のいとも悲しく物憂き日僅かに歌により慰めぬ

疲れたる心の前にだゞうすく秋の野さ空見ゐるくれ

□　玉津　島光（京城）

書物よりこぼれて落ちし銀杏葉にはしなく浮ぶ在りし思ひ出

□　立花　虹人（京城）

死の如く消ざめつゝも暮れてゆく博物館の秋のかはたれ

□　國田　葛園（永登浦）

曉近く冷たき目ぶたひそに閉ち雨の足音聞き入りしかな

しら〳〵と木の間に湖の見ねそめて霜柱ふむわが足の疲れ

うら侘れてさや〳〵なびく木の梢に見るに怠けき朝の月あり

立ちつくす枯木のひまゆ有明の月な見つゝしたな呼びにけり

鐘音に朝の空氣はひに〳〵と山を廻りて動きたるかも

銃を秋にふりさけ見ればさの登る空な掠めて雁こそ渡れ

さびれたる山の床に休らへば淋しきまゝに友欲りにける

遊すがらふさ思へらく信濃なる小路き谷に住むらむ友を

□　哀　子（光州）

風吹きて銀は散げごの木下日當りにして童女等遊べり

日だまりに我も來りてたゝずめば遊ぶをやめて皆集ひ來ぬ

しみ〴〵と我がうつしみのかなしければ戯れに來る無邪氣な童女

淋しさに物な云はれば童女等は校舍の軒にひそみゐにけり

一言のお伽噺にこそ足りて子等はいそ〳〵歸りに行けり

近頃よく賣れますキヤラメルは滋養豐富血液増進のライオンキヤラメルで有ます　試に召上て御覽遊ばせ　京城若草町　新工場　ライオン商會

産科婦人科　京城壽町電二〇〇一　二宮醫院　醫學士　二宮亮吉

新刊紹介

○電燈界の福音　電燈の光力を顯る有効に經濟に使用し得る新發明器が出來た最も經便なもので電燈使用者の福音であらう神戸三宮一丁目日本照燈器本舖で發賣してゐる

▼みづゑ（十二）　故關根正二氏の追悼號とも言ふべきものである卷頭に同氏の遺作『信仰の悲み』あり其の他後藤氏の浜離風景、吉田氏の郊外へ出る道、赤城氏の向日葵等の原色版あり内容は關根氏の遺作其の他記事豐かなり（五十錢、東京小石川關口駒井町三春島會）

▼群山商報（一の四）　店頭装飾共進會と共墨評（牛尾正一）その他商業に關する有益なる記事多し（四十錢、群山明治町八七共社）

▼ホトトギス（二三の三）　小報まで（虚子）寫生は俳句の大道であります（原月舟）俳句入門欄（零餘子）其角研究（諸家）その他句集、隨筆、小品等趣味ある記事多し（三十六錢、東京牛込區市ヶ谷船河原町十二其發行所）

▼靈氣療法と其効果（日本心象會編）　本書は日本心象學會々長川上又次氏の多年研鑽と實驗とを重ねたる結果發得せし獨得の靈氣療法と共効果とを簡單に說きたるもの靈氣療法とは靈氣の關係にて疾病を治療すべき細胞の機能を常調に復せしむるものなり（卅錢、東京市下谷區上野櫻木町四八日本心象學會）

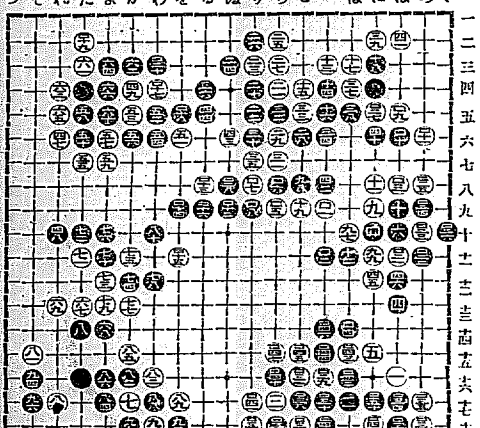
▲新町〇〇樓仲居の妾利方に通ぐ生文もせない女や下女山押付け其の上泣勝手に入れ其の上祝儀近勝手に定めて取るとは實に許語同斷（第三生）▲讀者中の中に〇〇〇〇村若〔illegible〕▲此度の〔illegible〕なして居られる方があれば御注意致します有合社は掛金を完納しても價券も呉れなければ金も呉れませぬよ（被害生）▲私は一杯喰はされました。古鐵女の住所御知らせ致します本町二丁目一六古城方深谷で參りますから御望みの方は御一報願ひます▲大和町ラ、ピエル氏外京城及郡内の郵便切手蒐集家諸君、同好者相集り郵券の研究及交換致度、有志の方は下名迄御一報願度候（仁寺洞、京口德一郎）▲私は香蘭嬢及び匪婆を忘郎致して居る者でございますが何處か共の方の道に學びつゝ自活してゆかれる樣な處がございませうか（一少女より）▲此度のカルタ會に一等、二等の榮冠を御受けになつた古江樣、奥村樣、私は羨しくてたまりません奥村樣は東洋協會の方でせう何卒そうでしたら前御一緒にいらした宮川樣の唯今の御住所を御知らせ下さいませ本欄まで（千子）▲京城市内で東京の渡邊女學校卒業なすつた方で學校なお開きの方はありませんか讀者の皆樣御存じなれば御知らせ下さいませ（政子）▲思道生に苦ふ貴下の云ふ如く成績優良の少年なれば教育してやりて見たし現に一名教育しつゝあり從來の學齡と性格と家庭の狀態な仁川の支局まで通知せられたし（仁川龍岡町生）▲思道生へ同情ある申出の方あり至急御住所を御知らせ當人の寫眞を本社本欄係へ送られ度し寫眞代に同情の方より送附し來り居れり（係）

圍碁新局（十）

（十一月中旬於本社主催圍碁大會）

五段　瀬越憲作氏
三子　佐藤伊盛氏

●	一三六	ち十八
○	一三七	と十八
●	一三八	と十七
○	一三九	り十八
●	一四〇	ち十六
○	一四一	り十七
●	一四二	ほ十六
○	一四三	ほ十五
●	一四四	へ十五
○	一四五	と十五
●	一四六	へ十四
○	一四七	ち十五
●	一四八	へ十八
○	一四九	に十八
●	一五〇	に十七



軸物表装廣告　地方御得意の御便利を計り特に確實優秀なる表具師と特約仕り候條期日の正確も亦最も誇りとする所に有之候

定價
本紙　軸物　一幅金四圓八十錢
本紙　二幅　一幅金六圓九十錢
新　三尺五寸　二幅　一幅金七圓八十錢
上及古書　一幅同
三尺五寸迄の金拾圓
但し尺三其の値段
小包は其の都度
りの御鐵道便ある場所に限る
京城太平通申受可候
京城日報代理部　振替京城二〇〇番

男女秘藏の粹書　密書入

本は何れも難版となりし江戸の人々が好色の手に入れられ樣な戯作に附し物語の色の本を是非讀みたいと云ふ人が今の世にも時代の男女が隱れて讀む甘き睦言を現はしたものにて大膽なる極めて大膽な筆致の書いたもの……

〔illegible〕

五巻合本四六判和綴製……代金壹圓八拾錢　送料無代
振替東京二九四〇　東京神田區表猿樂町廿一番地　トモヱ文庫　進呈

合本目錄
▲小夜衣草紙……式亭三馬作
▲百手枕……川水金魚作
▲戀の出雲……爲永春水作
▲總の花染……自笑山人作
▲男女川草紙……笑亭樵山人作
小夜衣草紙

解熱無比の特約店に販賣す　樂天堂製藥會社　本舖

風引には　大學病院採範方劑

コートピア　一名金屬磨液
定價一瓶一圓　送料十八錢
京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

貴金屬、銅、ニツケル、銀、金銀其他總テノ金屬ヲ磨クニ手數ヲ不要品質ノ傷ムコトナク、然モ價至廉ナリ故ニ御家庭ノ常備品トシテ一般ニ歡迎セラル

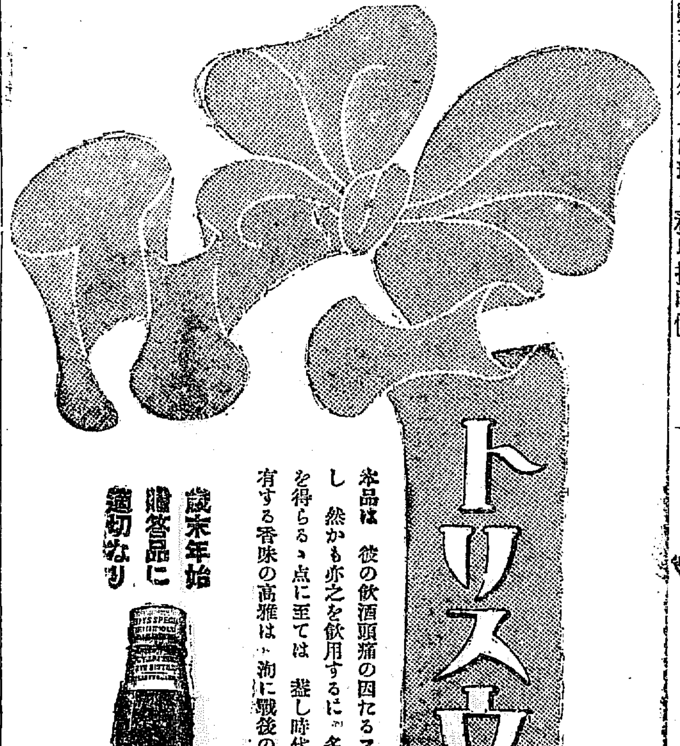
確實は　弊店の生命にして信條なれば取引御安心を乞ふ
林木商　城山組　龍山　電話長二〇九番　振替下關五五一番

進呈　りうまち　だゝ上げる自宅療法　藥をのまずナヲル評判　ずにヨクナル多年難症服藥せず治す其實驗を助けの爲告げたし返信料添へ申込有れ　播州明石相生街　森末本宅

資本金　六百萬圓
積立金操越金　百貳拾五萬圓
株式會社　十八銀行京城支店
京城府黃金町二丁目　電話一〇五八〇番　振替貯金口座　京城八〇四番
同　新龍山支店　京城府漢江通り　電話五五〇番　振替口座京城一八五三番
同　龍山出張所　京城府元町二丁目　電話一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申
又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

味噌の　ほまれ味噌　横綱

トリスウヰスキー



本品は　彼の飲酒頭痛の因たるフーゼル分子を絶對に含まざるを其特色とし　然かも亦之を飲用するに於ては多くの時と量とを消耗せずして適度の快味を得らるゝ點に至ては　蓋し時代生活上必須のものたるべし　殊に本品の有する香味の高雅は、洵に戰後の天才的産物として嗜好界早くも定評あり

歳末年始　贈答品に　適切なり

代理店　大阪市東區安土町四丁目　祭原商店

洋行歸り　の新しい御婦人方が盛んに愛用し
日本に唯一つしかないと激賞されてゐる
絶對に純無鉛無毒にして
初冬の顔アレを防ぎ皮膚を滑に保ち
天性のやうな色の白さにつく
眞に新發見　最新式煉製
ホーカー白粉
冬は誰方にも合ふホーカー白粉に限ります
○今までの白粉と全然其白さを異にし
○ツケたのが肉眼で解らない程自然の白さにつく
○光りせず又底黒く見わる心配なく
○純無鉛無毒にして絶對に變色せず
○ノリノビツキ共によく決してムラにならぬ
○冬の顔アレや手のアレによくキメを細かにす
全國到處の化粧品店小間物店洋品店藥店等にあり萬一品切れの時は三錢切手又は振替にて直接本舖へ御注文を願ひます
定價　一瓶二十五錢
送料　内地六錢　鮮滿四十錢
ホーカー液　ホーカー白粉　ホーカーバツト　ホーカー美髮液
本舖　東京神田和泉町　堀越嘉太郎商店　電話神田一四三・一四四・一四五　振替東京一五六

航空事業發展

内閣は來年度より歳計の許し得る範圍及び飛行教官を招聘する〔illegible〕十五萬圓を陸軍省豫算内に〔illegible〕を顧慮經衡の末陸軍省内に設置〔illegible〕

昇格豫定學校

〔illegible〕明せり其校數は尙は不明なるも〔illegible〕是等は臨時教育委員會に附議の〔illegible〕値上げせず今日に至れるが〔illegible〕